

深井隆関連文献一覧

○1977年から2025年1月までの期間における、深井隆に関連する主だった文献を年代順に並べた。
○『東京藝術大学の彫刻と深井隆 1951～(2018)～』第Ⅲ部「深井隆関係文献一覧」に掲載されている文献については、『青本 No』欄に同文献掲載番号を掲記してある。
なお、同文献第Ⅲ部第一章「深井隆の言葉」に掲載の文献については『青本Ⅲ-1 記事番号』欄に同文献記事番号を記載した。
○『東京藝術大学の彫刻と深井隆 1951～(2018)～』第Ⅲ部第一章「深井隆の言葉」に未掲載の文献のうち、深井隆の言葉が含まれる文献については『青本Ⅲ-1 記事番号』最終番から連続する番号を『深井隆言葉記事番号』欄に記載している。
○頁数表記のない文献は、本文先頭頁より数えた頁数（表紙・裏表紙・遊び紙は含まない）を記載の上、「（頁表記なし）」と記載している。

文献情報		青本 No	青本Ⅲ-1 記事番号	深井隆言葉 記事番号
1972				
1	「あ で い ん ざ ら いふ」『東京芸術大学彫刻科』（1972 年度芸術彫刻科小冊子）、東京藝術大学美術学部彫刻科、1972 年、12 頁（頁表記なし）			【107】
1973				
2	『昭和四十八年度 彫刻科 展示目録』東京藝術大学美術学部彫刻科、1973 年 9 月、リーフレット			
3	『CHO COCKER LIVE AT THE UENO ZOO SIDE!』東京芸術大学彫刻科（ヴォイス オブ チョウコクカンパニー）、1973 年、11 頁			
1977				
4	『第 2 回北関東美術展』図録、栃木県立美術館、1977 年、22 頁（頁表記なし）			【1】
1979				
5	『昭和 52 年度 東京藝術大学藝術資料館年報』（通巻第 10 号）、東京藝術大学藝術資料館、1979 年 3 月、裏表紙			
6	『深井隆彫刻展』DM、みゆき画廊、1979 年 9 月			【2】 ①-【1】
1980				
7	『第 5 回群馬青年美術展』図録、群馬県立近代美術館、1980 年、9 頁			【3】
8	『第 3 回北関東美術展』図録、栃木県立美術館、1980 年、7・21 頁（頁表記なし）			【4】 ①-【2】
9	『第 13 回日本国際美術展』図録、日本国際美術振興会・毎日新聞社、1980 年、78 頁（頁表記なし）			【5】
10	『かわら版：第 3 回北関東美術展』『美術評論』第 12 号、中興企画、1980 年 3 月、62 頁			
11	『風景の中に求め得るもの』『すずかけの庭：栃木県立美術館友の会会報』友の会広報部編、栃木県立美術館友の会、1980 年 6 月、4—5 頁			【6】 ①-【3】
12	『道考経過』『第 11 回中原徳二郎賞』図録、旭川市教育委員会、1980 年、5 頁			
1981				
13	『審査総評』『第 6 回群馬青年美術展』図録、群馬県立近代美術館、1981 年、2 頁			【7】
14	『第 15 回現代日本美術展』図録、日本国際美術振興会・毎日新聞社、1981 年、34 頁（頁表記なし）			【8】
1982				
15	『審査総評』『第 7 回群馬青年美術展』図録、群馬県立近代美術館、1982 年、2 頁			【9】
16	『展覧会の記録 板橋区現代美術 '80 年展』『板橋区立美術館概要 昭和 54・55・56 年版』板橋区立美術館、1982 年、29 頁			
17	『展覧会の記録 '81 年板橋の現代作家展』『板橋区立美術館概要 昭和 54・55・56 年版』板橋区立美術館、1982 年、47 頁			
18	『教育普及事業 昭和 55 年度美術教室』『板橋区立美術館概要 昭和 54・55・56 年版』板橋区立美術館、1982 年、57 頁			
19	『第 14 回日本国際美術展』図録、日本国際美術振興会・毎日新聞社、1982 年、243 頁（頁表記なし）			【10】
20	『建・築・空・間・と・彫・刻・展』『ART VIEW』第 1 巻第 1 号通巻 1 号、ビジョンシステムプランニング、1982 年 6 月、4 頁			
21	『展覧会』『毎日新聞』1982 年 9 月 30 日夕刊、4 面			【11】
22	松村寿雄「具象彫刻の新たな息吹 舟越桂、深井隆個展」『サンケイ新聞』1982 年 10 月 5 日夕刊、7 面			【12】
23	『画廊』『芸術新潮』第 33 巻 11 号通巻 395 号、新潮社、1982 年 11 月、14 頁			【13】
1983				
24	『木のかたちとエスプリ』図録、埼玉県立近代美術館、1983 年、59—60 頁（頁表記なし）			【14】 ①-【4】
25	『第 4 回北関東美術展』図録、栃木県立美術館、1983 年、57 頁（頁表記なし）			【15】
26	『第 3 回 天展』図録、天理教道友社、1983 年 4 月、25 頁			
27	『新説 不在の中の存在感 深井隆』『現代彫刻』第七十号、聖豊社、1983 年 4 月、14—17 頁			【16】
28	『建築空間と彫刻』ギャラリー山口、1983 年 9 月、二折折りリーフレット			
29	松村寿雄「12 人が広げる空間の夢『建築空間と彫刻』」『産経新聞』1983 年 9 月 17 日夕刊、5 面			【17】
30	松村寿雄「木に寄せる四人の心象」『産経新聞』1983 年 9 月 30 日夕刊、9 面			【18】
31	米倉守・野井清一「野外彫刻の行方」『現代彫刻』第七十六号、聖豊社、1983 年 10 月、12 頁			
32	『とっともバック 深井隆』『芸術新潮』第 34 巻 11 号通巻 407 号、新潮社、1983 年 11 月、40 頁			【19】
33	『特別企画●スキャリーマード・ファニチュア／最新個性派家具』『商店建築』第 28 巻 13 号、商店建築社、1983 年 11 月、240 頁			
34	『展評』『美術手帖』vol.35 no.519、美術出版社、1983 年 12 月、186—189 頁			【20】
1984				
35	『彫刻、立体の現存性』図録、代々木ゼミナール、1984 年 1 月、12—13 頁・16 頁			【21】 ①-【5】
36	たにあらた「媒隣性自明下の彫刻と立体」『彫刻、立体の現存性』図録、代々木ゼミナール、1984 年 1 月、2—5 頁			【22】
37	『展覧会の記録 '82 板橋の現代作家展』『板橋区立美術館概要 昭和 57・58 年度版』板橋区立美術館、1984 年、10 頁			
38	『展覧会の記録 '83 板橋の現代作家展』『板橋区立美術館概要 昭和 57・58 年度版』板橋区立美術館、1984 年、24 頁			
39	峯村敏明「連載 彫刻の新世代 第六回 深井隆—円柱をくぐ—」『現代彫刻』第八十二号、聖豊社、1984 年 4 月、16—23 頁			【23】
40	『特集』ニュー・イメージの提案『美術手帖』vol.36 no.528、美術出版社、1984 年 7 月、31 頁			【24】
41	峯村敏明「第四回平行芸術展の意味するもの < 現実 > が < 現在 > のかなたに顕われるとき」『アート '84』マリア書房、1984 年 10 月、90—95 頁			【25】
42	高島平吾（構成）「なぜ、木で表現するか」『木の芸術：心ひかれる木の造形（シリーズ木の文化 5）』朝日新聞社、1984 年 11 月、128 頁			【26】
43	『展覧会』『毎日新聞』1984 年 12 月 20 日夕刊、5 面			【27】
44	『第 4 回平行芸術展』財団法人小原流、1984 年、タブロイド判			
45	峯村敏明「形而上的価値を射（鏝）る者たち」『第 4 回平行芸術展』財団法人小原流、1984 年、タブロイド判			【108】
46	TOHYAMA LIGHTING FIXTURES CATALOGUE 1984』オーヤマ照明株式会社、1984 年 1 月、4—11 頁			
1985				
47	『幻の深淵より』『第 5 回 ハラアニアル』図録、財団法人アルカンシエル美術財団、1985 年、30—31 頁（頁表記なし）			【28】 ①-【6】

48	金澤毅「ハラアニュアルVを迎えて」『第5回ハラアニュアル』図録、財団法人アルカンシェール美術財団、1985年、8－11頁（頁表記なし）	[29]
49	『作品：グラスアート 赤坂』『新建築』第60巻1号、1985年1月、新建築社、169－176頁	
50	磯崎新『作品解説 制度、キッチン、仕掛け、ズレ』『新建築』第60巻1号、1985年1月、新建築社、177－180頁	
51	『グラスアート 赤坂 磯崎新アトリエ』『建築文化』vol.40No.459、彰国社、1985年1月、41－48頁	
52	篠田達美「第5回ハラアニュアル 誘惑された季節」『美術手帖』vol.37 no.545、美術出版社、1985年6月、178－183頁	[30]
53	「深井隆－Takashi Fukai」『The Figurative Impulse－The New Trends in Japanese Contemporary Art－（日本現代美術展'85）』図録、Walker Hill Art Center（Seoul）、1985年7月、26－27頁	
1986		
54	青木宏「舟越桂、深井隆――二人の時間旅行者」『IMA－ART IN TOKYO '86 Vol.1. 1』図録、ANDO GALLERY、1986年、12－13頁	[32]
55	「展覧会の記録 “84 板橋の現代作家展” 板橋区立美術館概要 昭和59・60年度 板橋区立美術館、1986年、10頁	
56	「閉館5周年記念特別展 現代日本の美術・3 戦後生まれの作家たち」図録、宮城県美術館、1986年、46頁	[37]
57	「先生からひと言（美校編）」『芸大生協 新入生のしおり '86』（芸大生協学生会委員編）、1986年、26－27頁	[109]
58	「【特集】現代彫刻の発言：ニュー・ウェーブたち」『美術手帖』vol.38 no.563、美術出版社、1986年6月、33頁	[31]
59	「深井隆」図録、ギャラリー山口、1986年	
60	近藤幸夫「深井隆－脱神話が生まみだした新たな神話の世界」『どりーむ』No.263、どりーむ編集局、1986年7月、25頁	[33]
61	「今が出版な 迫力の四展」『芸術新潮』第37巻8号、新潮社、1986年8月、77頁	[34]
62	「FACTORYの四人展」『美術手帖』vol.38 no.567、美術出版社、1986年9月、12－13頁	[35]
63	「imageXprocess：深井隆「逃れゆく思念」出現」『みづゑ』通巻940号、美術出版社、1986年9月、91－94頁	[36] ①－[7]
64	編集委員・田中幸人「【美術】深井隆展 剣持和夫展」『毎日新聞』1986年12月2日夕刊、4面	[38]
1987		
65	「現代のアイコン かみとひとものときとのなかに」図録、埼玉県立近代美術館、1987年、23・114頁（頁表記なし）	[42]
66	萩原佐和子「深井隆」『もの派とポストもの派の展開』図録、多摩美術大学／西武美術館、1987年、112頁	[43]
67	「馬」『彫刻動物園』図録、栃木県立美術館、1987年、74頁	[44] ①－[8]
68	東京藝術大学・朝日新聞社編『東京藝術大学創立100周年記念展 明日への展望――教育作品』図録、朝日新聞東京本社企画第1部、1987年、76－77頁（頁表記なし）	[46] ①－[10]
69	高島直之「ART NOW」『朝日ジャーナル』朝日新聞社、1987年1月、41頁	[39] ①－[9]
70	「現代彫刻」第九十七号、聖豊社、1987年1月16日、表紙	
71	「作家訪問：深井隆－彫ることの思念」『美術手帖』通巻575号、美術出版社、1987年2月、96－103頁	[40] ①－[12]
72	「フィート・キン作 黄色いグラコン」『昭和61年度 東京藝術大学藝術資料館年報』東京藝術大学芸術資料館、1987年3月、31頁	[110]
73	「アートギャラリー（逃れゆく思念）」『月刊ジャストヘルス』45号、社会保険法規研究会、1987年3月、32頁（裏表紙）	[111]
74	「最前線の技法-Wood-」『アトリエ』アトリエ出版社、1987年4月、53－54頁	[41]
75	「企画展「現代のアイコン」」『ソコロ：埼玉県立近代美術館ニュース』19、埼玉県立近代美術館、1987年7月、1－2頁	
76	「メラリポート：パルテンノ多摩」『鹿島建設月報』No.334、鹿島建設株式会社、1987年9月、22－23頁	
77	「シノラマニッポン③宅一生アート・ジャパネスク」『家庭画報』第30巻第9号通巻355号、世界文化社、1987年9月、259－266頁	
78	「ART 美術」『ぴあ』1987年10月30日通巻第304号、ぴあ、1987年、320頁	
79	秋田哲利「EXHIBITION もの派とポストもの派の展開」『美術手帖』vol.39 no.585、美術出版社、1987年9月、189－191頁	
80	峯村敏明「ダフネはいずこに？」『深井隆』図録、西村画廬、1987年10月、4－5頁	[47]
81	「オリエントの風」『深井隆』図録、西村画廬、1987年10月、13頁	[48] ①－[11]
82	「パルテンノ多摩のインテリア」『美術手帖』vol.39 no.586、美術出版社、1987年10月、18－19頁	[45]
83	「美術 深井隆展 真坂唯二 井上雅之展 神秘的な気配が 深井隆展」『毎日新聞』1987年10月20日夕刊、4面	[49]
84	Janet Koplos「Five in Three Dimensions」『Asahi Evening News』1987年10月23日、11面	[50]
85	「[WWF ジャパン紙上フォーラム④]アーバン・メルサッンス：都市空間変動の時代 アートを導入する商業空間の行方」『WWF FOR JAPAN』No.305、ウーマンズ・ウェア・デیلیー・ジャパン、1987年11月16日、20－21面	[112]
86	「GORO VISUAL FIELD「私は他者に動かされたくないのだ！」と椅子」『GORO』NO.22 NOV.12、小学館、1987年、26頁	
87	「固まらなくて！深井隆」『芸術新潮』新潮社、1987年12月、72頁	[51]
88	たにあらた「【特集 本 PART－2】身体的作用を受けやすい素材」『草月』175号、草月会出版部、1987年12月、113－115頁	[52]
89	松村寿雄「環境芸術 街中の美 深井隆 蒼穹へ」『産経新聞』1987年12月27日、9面	[53]
1988		
90	「展覧会の記録 “86 板橋の現代作家展” 板橋区立美術館概要 昭和61・62年度 板橋区立美術館、1988年、16頁	
91	「展覧会の記録 “87 板橋の現代作家展” 板橋区立美術館概要 昭和61・62年度 板橋区立美術館、1988年、46頁	
92	「選考経過」『第19回 多摩市立複合文化施設 曽根幸一＋環境設計研究所』『新建築』第63巻2号、1988年2月、新建築社、177－188頁	
93	「第19回中原二郎賞」図録、旭川市教育委員会、1988年、8－9・11頁（頁表記なし）	[61] ①－[13]
94	中村英樹「深井隆」『装飾の原点』図録、ギャラリー白、1988年、8頁（頁表記なし）	[59]
95	「當代日本彫塑興版画 Contemporary Japanese Sculpture and Prints」図録、The Hongkong Land Property Company Ltd、1988年、29頁	[58]
96	堤昌哲「[NEWS COLUMN アート]“欠落。をはらんだ充足”『商店建築』第33巻1号通巻421号、商店建築社、1988年1月、107頁	[54]
97	藍龍「展評東京」『三彩』通巻484号、三彩社、1988年1月、92－93頁	[55]
98	芹川直子「ブティック・クルージング23 イッセイミヤケベルマネンテ 鏡のミステリー」『marie claire Japan』通号62号、中央公論社、1988年1月、266頁	
99	「カード・インデックス オブジェクティブ・アート」『日経イメージ気象観測 Quarterly 1988.1 No.3』日本経済新聞社 データバンク局、1988年、86頁	
100	「オブジェクティブ・アート 告知」『日経イメージ気象観測 Quarterly 1988.1 No.3』日本経済新聞社 データバンク局、1988年、カード番号 8801230	[113]
101	「プロブ 19題 多摩市立複合文化施設 曽根幸一＋環境設計研究所」『新建築』第63巻2号、1988年2月、新建築社、177－188頁	
102	「多摩市立複合文化施設 曽根幸一＋環境設計研究所」『3建築文化』VOL.43NO.496、彰国社、1988年2月、50頁	
103	篠田達美「アトリエ訪問 創造の翼 いけ花龍生」No.335、龍生華道会、1988年3月、16－19頁	[56]
104	「Styling Front 深井隆逃れゆく思念」『スタイリング』No.13、スタイリングインターナショナル、1988年3月、12－13頁	[57]
105	千葉成夫「停滯から展開――美術・1987年の総括」『日経イメージ気象観測 Quarterly 1988.4 No.4』日本経済新聞社 データバンク局、1988年、67頁	
106	Rodney O'Brien「Cutting Through The Veneer.Takashi Fukai」『PHP INTERSECT』第4巻40号通巻211号、PHP Institute、1988年4月、22－23頁	
107	Janet Koplos「Mono-ha and the Power of Materials」『New Art Examiner』1988年6月号、New Art Associations、1988年、29－33頁	[60]
108	「彫刻・中原二郎賞に空充伏、深井隆の両氏」『読売新聞』1988年9月13日東京朝刊、26面	
109	「【中原賞】は空氏に 戸谷氏は「朝倉賞」（点描）」、『朝日新聞』1988年9月26日夕刊、9面	[62]
110	星野清一「現代彫刻の新世代①象形彫刻」『アートマガジン』第1巻8号通巻8号、日本美術出版、1988年10月、156－161頁	[64]
111	「[1. 深井隆の彫刻空間]「アート・トップ」No.108、芸術新聞社、1988年12月、46頁	[65] ①－[14]
1989		
112	「アート・エキサイティング'89－現在を超えて－」図録、埼玉県立近代美術館、1989年、106頁	[77] ①－[20]

113	『板橋の現況'89』図録、板橋区立美術館、1989年、55・75頁（頁表記なし）	〔95〕
114	『6月の展覧会スポット 幻惑のような光景 深井隆彫刻展』『月刊ギャラリー』1989年6月号第50号、ギャラリーステーション、1989年、30頁	
115	Masayoshi Homma「Introduction Switching Channels」『JAPANESE WAYS WESTERN MEANS』図録、QueenslandArt Gallery、1989年、8—14頁	〔105〕
116	『日本現代版書展』図録、財団法人交流協会、1989年、56—59頁	
117	三田晴夫「環境的変動のうねりのなかで」『美術手帖年鑑'89』vol.41 no.604、美術出版社、1989年1月、16—17頁	〔66〕
118	『深井隆氏の「逃れゆく思念」に第14回平柳田中賞』『読売新聞』1989年2月20日東京朝刊、13面	〔67〕
119	『黒坂 第14回平柳田中賞、深井隆氏に決まる』『朝日新聞』1989年3月13日夕刊、7面	〔68〕
120	『人らんだむ 第14回平柳田中賞を受賞した 深井隆さん 人間存在を問う木彫』『新美術新聞』1989年3月21日、美術年鑑社、2面	〔69〕 ①—〔15〕
121	『美術：馬と静物で求める「矢われた時。」』『産経新聞』1989年3月23日、15面	〔70〕
122	『HOTLINE 第14回平柳田中賞に深井隆氏』『月刊美術』第15巻第4号通巻163号、サン・アート、1989年4月、84頁	
123	『ARTIST'S VOICE』『アトリエ』No.747、アトリエ出版社、1989年5月、106頁	〔71〕 ①—〔16〕
124	『新世代が作る木彫世界 深井隆彫刻展 (NEXT・WEEK)』『朝日新聞』1989年6月10日夕刊、12面	〔72〕
125	『人間不在の人間表現、『新美術新聞』1989年6月11日、美術年鑑社、4面	〔73〕
126	建品哲「快楽としてのイコノクラスム」『深井隆』図録、西村画館、1989年6月、2—3頁	〔74〕
127	『ブリズム』『深井隆』図録、西村画館、1989年6月、21頁	〔75〕 ①—〔17〕
128	島山耕造（文責）『「HOMO FABER」翼の生えた椅子彫刻家 深井隆氏』『季刊「6」』創刊号、財団法人工芸学会・麻布美術工芸館、1989年6月、13頁	〔76〕 ①—〔18〕
129	『木で作り出した神話的空間（アートの瞬間）』『朝日新聞』1989年6月17日夕刊、14面	〔78〕
130	Gennifer Weisenfeld「Arts:Sculpture filled with mystical images」『The Japan Times』1989年6月18日、The Japan Times、11面	〔79〕
131	『美術 深井隆展 蓮池純治展 玩物喪志のロマン 深井隆』『毎日新聞』1989年6月20日、6面	〔80〕
132	〔米〕『深井隆展とクレメント・ミドモア展（美術）』『朝日新聞』1989年6月21日夕刊、7面	〔81〕
133	〔晋〕『「美術」白御影に刻む時間 岡本敦生展の「記憶体彫」』『読売新聞』1989年6月21日東京夕刊、15面	〔82〕
134	〔M〕『「非在と実在の狭間で」』『産経新聞』1989年6月22日、15面	〔83〕
135	〔12人のプリントワークス』図録、ハイネケンヴィレッジ、1989年6月、52—55頁（頁表記なし）	〔84〕
136	Derek Jones「Fukai's Fantasy World」『Asahi Evening News』1989年6月23日、朝日新聞社、13面	〔85〕
137	〔直〕『彫刻の表現形式拡大 記憶の底みぎずり出す』『山陽新聞』1989年6月28日、9面	〔86〕
138	『古代道跡から発掘された物のように、そこには気高い空気が漂う。背後に、遙か東方の風が吹いて。 深井隆 彫刻展』『クリーク (CLIQUE)』No.1、マガジンハウス、1989年6月、139頁	〔87〕
139	『「アート・エキサイティング'89」に寄せて』『ソコロ：埼玉県立近代美術館ニュース』27、埼玉県立近代美術館、1989年6月、2頁（頁表記なし）	〔88〕 ①—〔19〕
140	『企画展「アート・エキサイティング'89」6/17(土)～7/23(日) 現在を越え』『ソコロ：埼玉県立近代美術館ニュース』27、埼玉県立近代美術館、1989年6月、表2—1頁（頁表記なし）	
141	『深井 隆 彫刻展』『芸術新潮』1989年6月号、新潮社、1989年6月、23頁	
142	近藤幸夫「木彫の変貌—伝統からの離脱」『アトリエ』No.748、アトリエ出版社、1989年6月、114—115頁	〔89〕
143	〔Art』深井隆彫刻展』『CLIQUE』第1巻第1号（創刊号）、マガジンハウス、1989年6月、139頁	
144	『アート'89』夏号 No.127、マリア書房、1989年6月、81頁（裏表紙）	
145	『「6・7月の展覧会・ア・ラ・カルト」彫刻のイメージ』『アート・トップ』第20巻第4号通巻111号、芸術新聞社、1989年7月、161頁	
146	『「6・7月の展覧会・ア・ラ・カルト」深井隆彫刻展』『アート・トップ』第20巻第4号通巻111号、芸術新聞社、1989年7月、163頁	
147	『アートマガジン』第2巻7号通巻17号、日本美術出版、1989年7月、表紙	
148	〔TAKASHIMAYA art information 日本橋高島屋美術館のご案内』vol.22、日本橋高島屋、1989年7月、6頁	〔114〕
149	『マタデ・アート・ターナショナル編、榎本さや子プロデュース「Symposium」『オブジェ TOKYO展・1989作品展』株式会社パルコ、1989年7月、4—8頁	〔115〕
150	『特集■いま、木彫が面白い！——ニューウェーブの旗手たちに聞く 深井隆』『月刊美術』第15巻7号通巻166号、サン・アート、1989年7月、50—51頁	〔90〕
151	『賞の消息 平柳田中賞に彫刻家の深井氏』『日本経済新聞』1989年7月23日朝刊、36面	〔91〕 ①—〔21〕
152	『コーセータイム：彫刻家深井隆氏 自分の神話を形に』『日本経済新聞』1989年7月31日夕刊、11面	〔92〕 ①—〔22〕
153	『日々生活の大切さ』『月刊美術』第15巻18号通巻167号、サン・アート、1989年8月、60頁	〔93〕 ①—〔23〕
154	『「私の好きな点」私の好きな7000体』『現代の眼』417、東京国立近代美術館、1989年8月、7—8頁	〔94〕 ①—〔24〕
155	夏木道「記憶の束から (ART「深井隆彫刻展から」)』『PARFUM』No.71、パルファム、1989年9月、30—31頁	
156	村田真「ART TODAY」『いけ花人生』No.353、龍生堂書店、1989年9月、39頁	〔96〕
157	峯村敏明「講演筆録 TAKASHI FUKAI「造形のトライアングル」からみた 深井隆診断」『アート'89』No.128 秋号、マリア書房、1989年、76—80頁	〔97〕
158	『OBJECTIVE ART VIEW POINTS』『日経イメージ気象観測 Quarterly 1989.10 No.10』日本経済新聞社 データバンク局、1989年、62頁	〔116〕
159	『インフォメーション：第14回平柳田中賞記念展開催』『三彩』通巻502、三彩社、1989年7月、117頁	
160	『Styling Front 深井隆 孤高の翼』『スタイリング』No.27、スタイリングインターナショナル、1989年10月、2—3頁	〔98〕
161	榎本たす「『東京アート迷宮⑥』美の発掘作業 深井隆の彫刻」『東京人』第4巻8号通巻25号、都市出版、1989年10月、39頁	〔99〕
162	高瀬昭男「ストーン・ギャラリー」『ストーンテラ』vol.18、(株)、エス、1989年10月、82—89頁	〔100〕
163	藤田達美「現代彫刻の新しい貌 反失楽園」『草月』1989秋創刊号、草月出版、1989年10月、65—82頁	〔101〕
164	『第13回上毛芸術奨励賞受賞者の横顔』『上毛新聞』1989年11月16日、8面	〔102〕
165	『「卒業生の作品紹介（5）美術と私」高崎高校同窓会報』第23号、高崎高等学校同窓会、1989年11月、12頁	〔104〕 ①—〔25〕
166	米倉守「美術（回顧89）」『朝日新聞』1989年12月12日夕刊、5面	〔103〕
1990		
167	『GEO impression 5 対話の精神 深井隆「逃れゆく思念」』『感覚地理の発想』アイアンドエス、1990年、61頁	
168	『展覧会への記録 '88板橋の現代作家展』『板橋区立美術館概要 昭和63・平成元年度』板橋区立美術館、1990年、20頁	
169	『展覧会への記録 板橋の現況'89』『板橋区立美術館概要 昭和63・平成元年度』板橋区立美術館、1990年、59頁	
170	井出洋一郎「深井 隆」『現代日本の屏風絵展 解説』ミナミ美術館、1990年、13頁	
171	『現代日本の屏風絵展』ミナミ美術館、1990年、20—21・102頁	
172	IDЕ Yōichirō「FUKAI Takashi」『Zeitgenössische Wandschirmmalerei(Byobu-E)aus Japan』図録、MINAMI ART MUSEUM、1990年、13・35頁	
173	IDЕ Yōichirō「FUKAI Takashi」『Contemporary Japanese Screen Paintings(Byobu-E)』図録、Minami Art Museum、1990年、13・35頁	
174	ジェニファー・ワイゼンフェルド「『ジャバ・タイムス』現代日本美術の多様性—神話を創ぐ—」『アートエキサイティング'89開催レポート』埼玉県立近代美術館、1990年、18—21頁	〔120〕
175	ジェニファー・タウンドロウ「『アート・マンスリー』日本の現代美術」『アート・エキサイティング'89開催レポート』埼玉県立近代美術館、1990年、22—25頁	〔121〕
176	マクセル・リチャード「『芥子』展覧会—その表現と手段—」『アートエキサイティング'89開催レポート』埼玉県立近代美術館、1990年、26—27頁	〔122〕
177	ジョン・マクドナルド「日本の思考・西洋の手法—オーストラリアの反応—」『アートエキサイティング'89開催レポート』埼玉県立近代美術館、1990年、30—34頁	〔123〕
178	『現代彫刻の将来を展望 (NEXT・WEEK)』『朝日新聞』1990年1月13日夕刊、12面	〔106〕
179	『制作にあたって』『開催15周年記念 現代彫刻の歩みⅢ 1970年代以降の表現—物質と空間の変容』図録、神奈川県立泉民ホール、1990年1月、88—89頁	〔107〕 ①—〔26〕

180	ジョン・マクドナルド「日豪交換現代日本美術展」"Japanese Ways, Western Means"に寄せて オーストラリア人の眼」『ソカロ：埼玉県立近代美術館ニュース』30、埼玉県立近代美術館、1990年1月、2-3頁（頁表記なし）	
181	「『展覧会』最近、分りやすくなってきた現代彫刻 日本を代表する作家30人の力作を1堂に」『サライ』1990年1月18日号、小学館、106頁	〔108〕
182	「翼に人の心を影り込む」『YANASE LIFE』1990年冬・臨時増刊号通巻134号、サンポスト、18-20頁	〔109〕 ①-〔28〕
183	「ある空間との出会い」『JAPAN AVENUE』(1990年6・7月号)、ジャパン・アベニュー株式会社、1990年6月、115頁	〔117〕
184	Masayoshi Homma 「JAPANESE WAYS WESTERN MEANS」『craft arts INTERNATIONAL』July/September1990、Craft Arts International、1990年、35-41頁	
185	「私の仕事場」『ワークステーション日立』No.24、日立製作所 情報事業本部 コンピュータ事業部、1990年8月、2頁	〔110〕 ①-〔27〕
186	「屏風絵で新たな表現の試み 西独で中堅43作家展覧会」『読売新聞』1990年8月31日東京夕刊、6面	〔111〕
187	布施英利「認識論 [NEWS COLUMN] 脳の中の建築空間 彫刻と柱」『商店建築』第35巻第9号通巻453号、商店建築社、1990年9月、165頁	〔112〕
188	「深井隆さん 琳瑯の感覚の木彫で屏風絵を彩るひとプラス1」『朝日新聞』1990年9月22日、17面	〔113〕
189	「ワシントンに刻印 [映画と絵画]」『美術の窓』第9巻第9号通巻94号、生活の友社、1990年9月、59頁	〔118〕
190	たにあらた「CI活動と現代美術」『エキオオンコーポラーツ』株式会社エキオオン・CI事務局、1990年10月、5頁	
191	「8階ロビー・電話コーナー・カウンター・通路」『エキオオンオフィス』株式会社エキオオン・CI事務局、1990年10月、10-11頁	
192	「9H」『エキオオンオフィス』株式会社エキオオン・CI事務局、1990年10月、28頁	
193	「深井隆」『エキオオンコーポラーツ』株式会社エキオオン・CI事務局、1990年10月、20-23頁	〔119〕
194	飯山雅英「AERAレポート「仏ザルドーに日仏国際芸術センターが誕生」」『AERA』1990年10月9日、朝日新聞出版、45頁	〔114〕
195	市倉治二郎「[ひと] 若手芸術家を育てるセンターをザルドーにつくった島井信一郎さん」『毎日新聞』1990年10月10日総合朝刊、3面	〔115〕
196	浅川孝「象徴の森を経て」『木のニューウェーブ イコンの森の思索者たち』図録、北海道立旭川美術館／北海道新聞社、1990年11月、6-7頁	〔116〕
197	越前俊也「アロピビトス、あるいは彫刻再生-20世紀のあり方に木を素材にした作家たち」『木のニューウェーブ イコンの森の思索者たち』図録、北海道立旭川美術館／北海道新聞社、1990年11月、8-11頁	〔117〕
198	加藤淳洋「ゆるやかな速度」中央公論社、1990年11月、カバー表紙（『逃れゆく思念'89-B』）	
199	「新収蔵の作品114点を展示／東京・板橋区立美術館」『読売新聞』東京朝刊1990年12月9日、26頁	
200	「[文化] 屏風の風月 ドイツを彩る ◇将来背負う中堅・若手43人出品、メセナで実現◇ 井出洋一郎」『日本経済新聞』1990年12月24日朝刊、32面	〔118〕
201	越前俊也「展覧会報告「木のニューウェーブ・イコンの森の思索者たち」展」『水華（旭川美術館だより）』25号、北海道立旭川美術館、1990年12月、3-4頁	〔119〕
1991		
202	たにあらた「『視線に誘われる作品のありよう』『レリフ・スカルプチュア三態』図録、ギャラリー・アリエス、1991年、表2-1頁（頁表記なし）	〔126〕
203	「ART 木戸修・深井隆二人展」『板橋文化情報誌 FUREAi 2月・3月合併号1991』財団法人板橋区文化振興財団、1991年、13頁	
204	井出洋一郎「作品解説 深井隆（1951〜）」『ヨーロッパ巡回帰国記念展 現代の屏風絵』図録、日本経済新聞社、1991年、20-21頁	
205	板橋区立美術館「ごいさつ」『木戸修・深井隆二人展』図録、板橋区立美術館、1991年、2頁	〔129〕
206	たにあらた「『ねじれ、と』『跳躍、現代彫刻の二様の「真実」』木戸修・深井隆二人展』図録、板橋区立美術館、1991年、4-7頁	〔130〕
207	「『夢想の散歩から』『現代日本美術の動勢-立体造形』展』図録、富山県立近代美術館、1991年、76頁	〔144〕 ①-〔32〕
208	「たかさきの美術・今」図録、高崎市美術館、1991年、42頁（頁表記なし）	〔143〕 ①-〔31〕
209	「道は遠く……」『平瀬田中貴：第15回を顧みて』図録、井原市立田中美術館、1991年、47頁	〔150〕 ①-〔34〕
210	Koplos,Janet 「SCULPTURE AS IMAGE」『Contemporary Japanese Sculpture』Abbeyville Press、1991年、149-158頁	〔151〕
211	「深井隆 TAKASHI FUKAI」『TBS Media Art Studio Project』TBS、1991年、A4カード10枚組の1枚（頁表記なし）	
212	「名古屋コンテンポラリーアートフェア」図録、名古屋コンテンポラリーアートフェア組織委員会、1991年、36-37頁	
213	「1990年度選考の芸術家について 深井隆」『La Temperature 1990-1991展』図録、Chateauau Beycheville、1991年、3頁（頁表記なし）	〔148〕
214	Akira,Tatehata,Takashi Fukai 「In Château Beycheville」図録、Paris、1991、27頁	
215	Takashi,Fukai.Une idée gui s'enfuit -L'ombre- 「In Château Beycheville」図録、Paris、1991年、27-28頁	〔120〕
216	奥田裕「進出する現代美術2 知的空間を演出」『産経新聞』1991年2月11日、9面	〔125〕
217	「展覧会」『朝日新聞』1991年2月15日夕刊、7面	〔127〕
218	「[文化] 展覧会」『毎日新聞』1991年2月21日夕刊、8面	〔128〕
219	「芸大講師2人の作品を17点展示／東京・板橋区立美術館」『読売新聞』1991年2月26日東京朝刊、24面	〔131〕
220	布施英利「脳の中の建築空間」『ハイバート』の解読号』冬樹社、1991年3月、100-103頁	〔132〕
221	「展覧会」『朝日新聞』1991年3月15日夕刊、7面	〔133〕
222	横山勝彦「りまの美術'91 遠藤利克／木戸修・深井隆二人展 多種多様に、今」を表現する立体」『月刊美術』第17巻3号通巻186号、サン・アート、1991年3月、274-276頁	〔134〕
223	斎藤建二「深井隆＜逃れゆく思念＞昭和63年」『昭和の美術 第6巻 51年〜64年』毎日新聞社、1991年3月、157頁	〔149〕
224	「詩よりも速く……」『深井隆展』図録、西村画廊、1991年4月、19頁	〔135〕 ①-〔29〕
225	「現在の屏風絵11日から上野・松坂屋で」『日本経済新聞』1991年4月4日朝刊、35面	〔136〕
226	「[文化] 展覧会」『毎日新聞』1991年4月4日夕刊、6面	〔137〕
227	「深井隆展 古典の再生めざす木彫美術」『朝日新聞』1991年4月9日夕刊、9面	〔138〕
228	「[文化] 美術 深井隆展 矛盾、葛藤の吐露」『毎日新聞』1991年4月9日夕刊、6面	〔139〕
229	(M)「展評 時を超えた"もの"」『産経新聞』1991年4月15日、9面	〔140〕
230	Shinoda Tatsumi 「Today's Art Scene Liberation From Pedestals」『Mainichi Daily News』1991年4月11日、毎日新聞社、9頁	
231	「デザインギャラリー-深井隆-新作展覧会」『室内No.437、工作社、1991年5月、150頁	〔141〕
232	「[展覧会情報] 現代の屏風絵展 一つの形式から模索する」『月刊美術』第17巻6号通巻189号、サン・アート、1991年6月、311-312頁	〔142〕 ①-〔30〕
233	「TBSが報道生番組のセットを一新 創立40周年を記念するCI戦略の一環」『毎日新聞』1991年8月28日東京夕刊、9面（芸能）	
234	「[CI時代のデザイナー]／99 電通 TBS 七人のアーティストで-新」『毎日新聞』1991年11月1日東京夕刊、5面（総合）	
235	「高崎市立第二幼稚園史 高崎市立第二幼稚園史編集委員会、1991年11月、377頁	
236	「TBS MEDIA ART STUDIO PROJECT アーティストによるスタジオ・デザイン」『美術手帖』vol.43.no.647、美術出版社、1991年12月、192頁	〔145〕
237	蛇川宏倫「美術 ユニークな企画展日立つ（回顧91）」『朝日新聞』1991年12月5日夕刊、17面	〔146〕
238	中島典「文化：病める地球に捧げるアート」『日本経済新聞』1991年12月19日朝刊、36面	〔147〕
239	「特集 人気彫刻家100人!! ドミノラバ・パノラマ (Part I) -具象彫刻篇」『美術の窓』第10巻第12号通巻109号、生活の友社、1991年12月、49頁	
240	「[巻頭エッセイ] ワイン、音楽、おしべり……シャトー・バイシュヴェルの国際現代芸術センターに参加して」『乾杯』12号冬号、鎌倉書房、1991年12月、6-7頁	〔124〕 ①-〔33〕
1992		
241	柳沢秀行「日本近現代木彫展-継承・そして新たな地平-」図録、岡山県立美術館、1992年、88頁	〔153〕
242	たにあらた「『分立するトリニティー』『分立するトリニティー』図録、ギャラリー白、1992年、表2-1頁（頁表記なし）	〔158〕
243	たにあらた「深井隆 Takashi Fukai「分立、あるいは解き放たれた物語」『分立するトリニティー』図録、ギャラリー白、1992年、10-13頁（頁表記なし）	〔159〕

244	「PRESS-ECHO 1992 BEGEGNUNG MIT DEN ANDEREN」Projektgruppe Stoffwechsel、1992年、133・145 頁	
245	「TEMPVS VICTVN 生きられた80年代」図録、小原流企画部、1992年、36 頁（頁表記なし）	〔161〕
246	山本健「ごあいさつ」『現代美術への招待 深井隆 吉田富久——二人展』図録、高崎市美術館、1992年、遊び紙2 枚目表面	〔162〕
247	「制作日記」『現代美術への招待 深井隆 吉田富久——二人展』図録、高崎市美術館、1992年、18 頁（頁表記なし）	〔163〕 ①—〔35〕
248	松浦幸雄「ごあいさつ」『現代美術への招待 深井隆 吉田富久——二人展』図録、高崎市美術館、1992年、遊び紙1 枚目裏面	〔164〕
249	「BEGEGNUNG MIT ANDEREN 展」図録、Kassel-Hann-Munden、1992年、104—105 頁	〔167〕
250	榎本了志「TBS が時代に向けてプレゼンションした (MAS)」『ポートフォリオ』第8 巻第1号、誠文堂新光社、1992年2月、94—95 頁	〔152〕
251	日本橋高島屋美術館「ごあいさつ」『深遠の造形 現代彫刻の五人展』図録、聖豊社、1992年5月、5 頁（頁表記なし）	〔154〕
252	『深遠の造形 現代彫刻の五人展』図録、聖豊社、1992年5月、22—27 頁（頁表記なし）	
253	かつしおシシフオーニヒルズ収蔵美術品紹介「『喝采 かつしおシシフオーニヒルズ開館記念誌』葛飾区区民部文化事業課、1992年5月、30 頁	
254	「作家たちのブレイクタイム とうとうと、人間のいた時間」『新美術新聞』1992年6月1日、美術年鑑社、8 面	〔155〕
255	「クロスページ 文化芸術」ドイツで開館中の国際展「ドクメンタ9」の対抗展 盛り上げる日本作家たち」『毎日新聞』1992年7月23日夕刊、7 面	〔156〕
256	「CONTEMPORARY ARTISTS IN JAPAN Sculptors and Installation Artists 133」株式会社日本演出、1992年7月、32—33 頁	〔157〕
257	「平井芸術展の80年代」図録、塚村敏明編著・財団法人小原流・美術出版社編集部編、美術出版社、1992年9月、55 頁	〔160〕 ①—〔36〕
258	「BEST CALENDERS OF THE YEAR VOL.2」メセイ出版、1992年9月、100 頁	
259	「モダンアート楽しんで」深井、吉田さん高崎で二人展」『上毛新聞』1992年10月22日、16 面	
260	たにあらた「回転する表彰 現代美術」脱ストモダンの視角」現代企画室、1992年10月、53 頁	
261	「過去の受賞者」『上毛新聞』1992年11月23日、5 面	
262	大平健二「詩的で象徴的な世界を表現」『朝日新聞』1992年12月17日富山版、22 面	〔165〕
263	「人間なもの」を刻み出す 彫刻家深井隆」『西日本新聞』1992年12月20日、28 面	〔166〕
264	「山口県立美術館年報（平成元～2年）」山口県立美術館、1992年12月、108 頁	
1993		
265	高階秀爾「葡萄の城のアトリエ」『サントリー美術館大賞展 '92—挑むかたち—』図録、サントリー美術館、1993年2月、85 頁	〔170〕
266	シャトーパシシュヴェル国際現代芸術センター 作家紹介「『サントリー美術館大賞展 '92—挑むかたち—』図録、サントリー美術館、1993年2月、94 頁	〔171〕 ①—〔37〕
267	「日本現代彫刻の系譜展」図録、富山県立近代美術館、1993年、44 頁	〔178〕
268	「ART EXHIBITION 美術館&ギャラリー—現在開館中—」『WEEKLY びあ』NOV.2 1993 No.530、びあ株式会社、1993年、198 頁	
269	「教育の教育研究活動」東京芸術大学美術学部、1993年、79—81 頁	
270	三木多聞「相生森美術館に寄せて」『相生森美術館所蔵作品図録 1993 本影』相生森美術館、1993年、5 頁	
271	「深井隆」『相生森美術館所蔵作品図録 1993 本影』相生森美術館、1993年、34—35 頁	
272	「企業とアート NICAF YOKOHAMA'93 PUBLIC ART PROPOSALS 2」国際コンテポラリーアートフェア実行委員会、1993年、94・99 頁	
273	たにあらた「『最新日本人アーティスト名鑑』深井隆」『美術手帖』vol.45 No.664、美術出版社、1993年1月、187 頁	〔168〕
274	「(Drawing)」『美術手帖』vol.45 no.665、美術出版社、1993年2月、内表紙	〔169〕
275	「挑むかたち—サントリー美術館大賞展 9 2 (in・short)」『AERA』第6 巻14号通巻 260 号、朝日新聞社、1993年4月、78 頁	〔172〕
276	「(再制作) に関するアンケート」山科知子・尾崎真人編「再制作と引用」図録、板橋美術館、1993年9月、101—102 頁	〔121〕
277	「美術 噴き上げる官能的な生動感 川越悟展」『毎日新聞』1993年9月27日夕刊、7 面	〔173〕
278	「展覧会・2 2 日」『朝日新聞』1993年10月22日夕刊、15 面	〔174〕
279	「幻の深淵より…」『深井隆』図録、西村画塾、1993年10月、3 頁	〔175〕 ①—〔38〕
280	M「展評 深井隆展「失われた時」の顕現」、『産経新聞』1993年10月31日東京朝刊、12 面	〔176〕
281	「展覧会案内 深井隆展」『公明新聞』1993年10月31日、公明党機関紙局、8 頁	〔177〕
282	稲本正「『甦れ、日本の木の暮らし 森の形、森の仕事』」楠——くすきの「家庭画報」世界文化社、1993年12月、357—363 頁	〔179〕
283	「絵描きを愉しむ彫刻家・深井隆」『芸術新潮』第44 巻12号通巻 528 号、新潮社、1993年12月、101 頁	〔180〕
1994		
284	「NEW WORKS AT NEW GALLERY」図録、西村画塾、1994年、12—13 頁（頁表記なし）	〔184〕
285	「展覧会の記録 板橋の現状展 1991～1993」『板橋区立美術館概要 平成4・5年度』板橋区立美術館、1994年、66 頁	
286	「資料収集」『板橋区立美術館概要 平成4・5年度』板橋区立美術館、1994年、101 頁	
287	「現代美術の磁場 '94」図録、茨城県つくば美術館、1994年、20—21 頁	〔188〕
288	「Essay with Wood 遠い時間、遠い声」『木工手づくり教室 No.7』株式会社パッチワーク通信社、1994年、6—7 頁	
289	東京芸術大学美術学部編「『アジア競技大会広島アートフェスティバル』「北京中央美術学院・北京中央工芸美術学院・東京芸術大学」合同作品展」図録、芸術研究振興財団、1994年、26 頁	
290	匠秀太「所蔵作品をめぐって」『旭川市彫刻美術館所蔵作品図録』中原二郎記念旭川市彫刻美術館、1994年6月、10—13 頁	〔185〕
291	「旭川市彫刻美術館所蔵作品図録」中原二郎記念旭川市彫刻美術館、1994年、113 頁	
292	浅野春男「環境・空間・木」『第3 回街と彫刻展』図録、街と彫刻展実行委員会、1994年、95 頁	〔189〕
293	「藝術資料館学造館工記念 美術館学館教育作品展」図録、藝術研究振興財団、1994年、31 頁（頁表記なし）	〔190〕
294	尾崎真人「『現代日本アーティスト名鑑』深井隆」『美術手帖』vol.46 no.682、美術出版社、1994年1月、115 頁	〔181〕
295	「円形の庭—覚醒—」『日経イメージ気象観測』日本経済新聞社、1994年1月、カード番号：940111A	〔182〕 ①—〔39〕
296	稲本正、岡崎良一「森の形・森の仕事」『森の形 森の仕事』世界文化社、1994年1月、78 頁	〔183〕
297	「呼吸する本影の聖人たち」『芸術新潮』第45 巻第7号通巻 535 号、新潮社、1994年7月、64—65 頁	〔186〕 ①—〔40〕
298	村田真「特集・アートがインテリを変えろ 人気アーティスト Who's Who? 深井隆」『モダンリビング』No.96、婦人画報社、1994年9月、177 頁	〔187〕
299	大沢吉博 編「アクトスの発見」中央公論社、1994年10月、表紙	
300	「センチュリーコート東京」『SUSUMU KITAHARA K.I.D.ASSOCIATES 1987-1994』北原進・K.I.D. アソシエイツ、1994年10月、6—9 頁	
301	「今井浜東急リゾート」『SUSUMU KITAHARA K.I.D.ASSOCIATES 1987-1994』北原進・K.I.D. アソシエイツ、1994年10月、10—11 頁	
302	「[DATA OF WORKS]」『SUSUMU KITAHARA K.I.D.ASSOCIATES 1987-1994』北原進・K.I.D. アソシエイツ、1994年10月、60 頁	
303	「MCA MIE CENTER FOR THE ARTS」A & T 建築研究所・三重県総合文化センター建築工事共同企業体、1994年10月、12・34 頁	
304	藤原えりみ「<天使>解体新書 ART」『BRUTUS』第15 巻23号通巻 332 号、マガジンハウス、1994年12月、32—33 頁	〔191〕
1995		
305	「深井隆」図録、西村画塾、1995年、2 頁	〔203〕 ①—〔45〕
306	「美術作家による阪神大震災復興支援「100人展」チャリティーオークション 日本画/洋画/彫刻他」図録、100人展の会、1995年、44 頁	
307	「作品とメッセージ」『都市パブリックアートの新世紀』フォーレ立川プロジェクト現代企画室、1995年、97 頁	〔215〕 ①—〔41〕
308	「常設展」『平成6年度 中原二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原二郎記念旭川市彫刻美術館、1995年、9—11 頁	
309	「特別展「彫刻家の素描展—中原二郎賞受賞作家による—」」『平成6年度 中原二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原二郎記念旭川市彫刻美術館、1995年、12—17 頁	
310	「所蔵作品一覧（彫刻）」『平成6年度 中原二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原二郎記念旭川市彫刻美術館、1995年、32—35 頁	

311	「所蔵作品一覧（絵画）」『平成6年度 中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館、1995年、36－38頁	
312	「作品 東京藝術大学藝術資料館取手館／六角鬼土計画工房」『新建築』第70巻2号、新建築社、1995年2月、115－121頁	
313	「特集 現代美術のコレクター訪問 愛と自己犠牲の行為MTMコレクション」『美術手帖』Vol.47 No.702 1995年2月号、美術出版社、20－21頁	
314	高瀬昭夫「環境アートギャラリー フェアレ・リ川」『ストンテリア』vol.39、(株)エス、1995年3月、81頁	『192』
315	「戦後50年 写真で見る日本の現代美術」、『美術手帖』vol.47 no.706、美術出版社、1995年5月、184頁	『193』
316	「特集 今なぜ使なののか？ 作家インタビュー」イメージの操作としての魅力」『月刊美術』第21巻6号通巻237号、サン・アート、1995年6月、57－58頁	『194』 ①－[42]
317	「深井隆画集 1 3月の夜空 アルバートシュトゥーフト9番地」新潮社、1995年7月	『195』 ①－[43]
318	「『文化批評と表現』展覧会」『毎日新聞』1995年7月26日夕刊、6面	『196』
319	吉田尚行「橋懸りとしての空間」『深井隆展』図録、相生森林美術館、1995年7月、表紙裏	『197』
320	「美術 物語への想像かき立てる「逃れゆく思念一月の庭」」『徳島新聞』1995年8月23日、12面	『198』
321	「深井 隆 天空からの風の色」『版画展』阿部出版、1995年9月、190頁	『199』
322	「句 なし」『新美術新聞』1995年9月1日、美術年鑑社、5面	『200』 ①－[44]
323	平林享子「ART「現代美術」のつもりはない。ただ彫刻を作っているだけ。」『BRUTUS』第16巻第17号通巻349号、マガジンハウス、1995年9月、106頁	『201』
324	「深井隆彫刻展 一家のかたち」『新美術新聞』1995年10月21日、美術年鑑社、1頁	『202』 ①－[46]
325	「展況 深井隆展」『赤版』1995年10月27日、日本共産党中央委員会、9面	『204』
326	「美術 深井隆展 不思議な実在感たえ」『毎日新聞』1995年10月30日夕刊、6面	『205』
327	(M)「展評：深井隆彫刻展 “不在” を喚起する “実在”」『産経新聞』1995年11月12日東京朝刊、10面	『206』
328	「本誌が映した美術市場の20年 どんな作家が注目を集めたのか」『月刊美術』第21巻11号通巻242号、サン・アート、1995年11月、58－59頁	『207』
329	宮本輝「私たちが好きだったこと」（装画：深井隆）、新潮社、1995年11月	『208』
330	「[作家昨日今日明日] 深井隆（彫刻家）」『月刊美術』第21巻12号通巻243号、サン・アート、1995年12月、162－163頁	『209』 ①－[47]
331	「歌俳句欄挿絵「星の降る庭で」」『朝日新聞』1995年12月3日曜版、7面	『210』
332	「歌俳句欄挿絵「遠い声の記憶」」『朝日新聞』1995年12月10日曜版、7面	『211』
333	「歌俳句欄挿絵「冬の光の中で」」『朝日新聞』1995年12月17日曜版、7面	『212』
334	「歌俳句欄挿絵「至福」」『朝日新聞』1995年12月24日曜版、7面	『214』
335	村田真「深井隆」『別冊太陽：パブリックアートの世界』平凡社、1995年12月、182頁	『213』
1996		
336	「20 深井隆『幻の深淵より一時の翼－』」『美術を楽しむ時間』図録、産経新聞社、1996年、14頁	『221』
337	「展覧会の記録 板橋の現況展 1993～1995」『板橋区立美術館概要 平成6・7年度』板橋区立美術館、1996年、64頁	
338	「資料収集」『板橋区立美術館概要 平成6・7年度』板橋区立美術館、1996年、105頁	
339	「『字案再見』国際交流基金、1996年、三つ折りリーフレット外側左端（頁表記なし）」	『222』
340	「[Sharaku Interpreted by Japan's Contemporary Artists] 図録、Japan Foundation、1996年、44頁（頁表記なし）」	『223』
341	「現代美術の磁場－1996－」図録、茨城県つくば美術館、1996年、16－17頁	
342	中原佑介「[アートが創る宇宙（第十三回）深井隆（ふかい たかし）] 時の流れを印した彫刻」『Voice』第217号、PHP研究所、1996年1月、11－14頁	『216』
343	「歌俳句欄挿絵「扉を開けたら」」『朝日新聞』1996年1月14日曜版、7面	『217』
344	「歌俳句欄挿絵「逃れゆく思念－虚空－」」『朝日新聞』1996年1月21日曜版、7面	『218』
345	「歌俳句欄挿絵「青い風に」」『朝日新聞』1996年1月28日曜版、7面	『219』
346	「平成6年度 東京藝術大学藝術資料館年報 東京藝術大学藝術資料館、1996年3月、表紙	
347	「[私の夢の美術館] 時空を越えて鼓動伝える館」『産経新聞』1996年4月14日東京朝刊、9頁	『220』 ①－[48]
348	「野外彫刻3点を設置 ポケットパークなどにブロンズ像 井原市／岡山」『朝日新聞』1996年7月11日岡山朝刊、26頁	『224』
349	「企業秘密の名品86点を1般公開」『日本経済新聞』1996年7月31日朝刊、40面	『225』
350	「ニュース&カレンダー：企業の名品アートコレクション展」『産経新聞』1996年8月18日東京朝刊、8頁	『226』
351	渋谷和彦「アート：医療施設でのヒーリングアートの試み 美術の力で安らぎを」『産経新聞』1996年9月8日東京朝刊、10頁	『227』
352	「人間らしさの追求 深井隆」『美術の意』第15巻10号通巻162号、生活の友社、1996年12月、36頁	『228』
1997		
353	日本橋高島屋美術館「ごあいさつ」『現代木彫・四人展 木で語る』図録、日本橋高島屋美術館、1997年、3頁（頁表記なし）	『230』
354	「現代木彫・四人展 木で語る」図録、日本橋高島屋美術館、1997年、10－11頁（頁表記なし）	『231』
355	「第17回現代日本彫刻展」図録、宇部市野外彫刻美術館、1997年、28頁・46－47頁（頁表記なし）	『235』
356	「64－深井 隆 復活祭 1978」『創立110周年記念 東京芸術大学所蔵名品展 卒業制作年次にみる近現代の美術』図録、読売新聞社、1997年、122頁	
357	「展覧会：青山二郎展、他」『産経新聞』1997年2月16日東京朝刊、13頁	『229』
358	「[社会事件ひと話題]現代日本彫刻展 受賞作決まる」『毎日新聞』1997年10月1日、30面	『232』
359	「[煌] テーマに20作品 現代日本彫刻展始まる 宇部／山口」『朝日新聞』1997年10月4日山口朝刊、24頁	『233』
360	「[煌 第17回現代美術彫刻展 過去と未来の空間表現』『毎日新聞』1997年10月10日山口、24頁	『234』
361	田中俊行「e-space スペースメディアデザインがつくる、いい空間」六耀社、1997年10月、63頁	
362	「月の庭」『空間の変容－彫刻のポテンシャル－』図録、空間の変容実行委員会、1997年11月、15頁	『236』 ①－[49]
363	「展覧会」『朝日新聞』1997年11月11日夕刊、5面	『237』
1998		
364	大越久子「深井隆」『わくわく！どきどき！サマー・ミュージアム！！』図録、埼玉県立近代美術館、1998年、51頁	『241』
365	「現代美術の磁場'98」図録、茨城県つくば美術館、1998年、24－25頁	『242』
366	笠原淳「十五歳 夏」（装画 深井隆）、新潮社、1998年3月	『239』
367	鷹見明彦「バイオグラフィ・ファンタスティカ 現代美術生命誌－新ビートル号航海記より」『美術手帖』vol.50 no.758、美術出版社、1998年7月、76－89頁	『240』
368	「ときどき画廊 TOKIWA GALLERY 1964-1998」三上豊、1998年12月、37頁	
1999		
369	「第18回現代日本彫刻展」図録、宇部市野外彫刻美術館、1999年、27頁	『253』
370	「深井隆 助教授－彫刻家」『美術学部の教員』東京芸術大学美術学部点検評価委員会、1999年、54頁	
371	「展覧会の記録 板橋の作家展'95-'98」『板橋区立美術館概要 平成8・9・10年度』板橋区立美術館、1999年、84頁	
372	「資料収集」『板橋区立美術館概要 平成8・9・10年度』板橋区立美術館、1999年、136頁	
373	「『もの派とポストもの派の展開 1969年以降の日本の美術』ゼン美術館編『西武美術館・ゼン美術館の活動：1975－1999』ゼン美術館、1999年、182頁	

374	尾崎眞人、福田さおり「深井隆「逃れゆく思念―邂逅―」1986年」『脱・現代美術教養論』図録、板橋区立美術館、1999年、92頁	〔254〕
375	高松市美術館「深井隆」『高松市美術館収蔵品図録・Ⅲ』高松市美術館、1999年、304頁	〔260〕
376	『第一九回中原樞二郎賞』『あさひかわと彫刻 旭川叢書第25巻』中原樞二郎記念旭川市彫刻美術館編、旭川振興公社、1999年3月、145頁	〔243〕
377	「深井 隆」『あさひかわと彫刻旭川叢書第25巻』中原樞二郎記念旭川市彫刻美術館編、旭川振興公社、1999年3月、195-196頁	〔244〕
378	「がんばってます 彫刻家 深井隆さん」『上毛新聞』1999年4月7日、24面	〔245〕
379	新井章夫「逃れゆく思念'89」『彫刻詩集 in Asahikawa 北方空間』アイ書房、1999年6月、52頁	〔246〕
380	高島屋美術館「ごあいさつ」『一本の糸譜―澄川喜一 深井隆 齋内佐斗司 展』図録、高島屋美術館、1999年9月、1頁	〔247〕
381	大野正勝「現代に現れる木彫の系譜」『一本の糸譜―澄川喜一 深井隆 齋内佐斗司 展』図録、高島屋美術館、1999年9月、2-4頁	〔248〕
382	「展覧会」『朝日新聞』1999年9月21日夕刊、5面	〔249〕
383	東京オペラシティアートギャラリー編「東京オペラシティアートギャラリー―収蔵品選 寺田コレクションからの100点」図録、東京オペラシティアート文化財団、1999年9月、71・143頁	〔250〕
384	「日本の代表的な木彫家3人の新作を展示―22日から日本橋で」『毎日新聞』1999年9月7日東京夕刊、6面（文化）	
385	高岡忠雄「この展覧会この1点?」『新美術新聞』1999年10月1日、美術年鑑社、2面	〔251〕
386	「第18回現代日本彫刻展受賞の皆さん」『毎日新聞』1999年10月18日大阪朝刊、11面	〔252〕
387	「奥・湖畔の芸術 第18回現代日本彫刻展 作品紹介 「月の底―風の降る夜―」」『毎日新聞』1999年10月30日山口、20頁	〔258〕 ①-〔50〕
388	板橋区立美術館「アトリエの謎?」松岡希代子編「アトリエの謎」図録、板橋区立美術館、1999年11月、1頁	〔255〕
389	「本々の声がきたい―深井隆氏にきく―」松岡希代子編「アトリエの謎」図録、板橋区立美術館、1999年11月、84-90頁	〔256〕 ①-〔51〕
390	松岡希代子「深井隆アトリエ台東区上野公園」松岡希代子編「アトリエの謎」図録、板橋区立美術館、1999年11月、109頁	〔257〕
391	「どこから来て、どこへ行くのか―手塚雄二 深井隆 宮嶋正明 現代的な「和」への挑戦」『月刊美術』第25巻12号通巻291号、サン・アート、1999年12月、72-74頁	〔259〕
2000		
392	酒井忠康「F氏への手紙」『深井隆 彫刻展』図録、現代彫刻センター、2000年、6-8頁	〔266〕
393	散野綾一「ごあいさつ」『深井隆 彫刻展』図録、現代彫刻センター、2000年、4頁	〔269〕
394	「作品を読む―足で読む、耳で読む、画面で読む」図録、尾崎眞人・佐々木英里子、板橋区役所、2000年17・27頁	〔270〕
395	『スプリチュアル・ガーデン』東京オペラシティアートギャラリー、2000年、三つ折りリーフレット外側真ん中（裏表紙）	〔271〕
396	「愛のデティペア展」図録、難民を助ける会、2000年、134頁	〔272〕
397	「技に夢をのせて 君の力は無限大 ものづくりエッセイ集」群馬県商工労働部職業能力開発課、2000年3月、92-93頁	〔122〕
398	「美の散策」『東京新聞』2000年4月20日朝刊、11頁	
399	「高崎出身、彫刻家の深井さん 東京でクス木彫展 人間の存在感表現」『上毛新聞』2000年4月18日、13頁	〔261〕
400	「深井隆彫刻展、記憶に語る詩的な緊張感」『日本経済新聞』2000年5月3日朝刊、32頁	〔263〕
401	石川健次「深井隆彫刻展 際限ない叙情、響き合う芳香、」『毎日新聞』2000年5月9日東京夕刊、6面	〔264〕
402	「展覧会」『朝日新聞』2000年5月31日夕刊、13面	〔265〕
403	柄本美喜「彫刻のいま17 深井隆「存在と時間が紡ぐ物語」」『美術の窓』第19巻6号通巻202号、生活の友社、2000年5月、124-125頁	〔262〕
404	白石恵理「公共施設で美術と触れ合い 札幌市の「ちえあり」／北海道」『朝日新聞』2000年10月13日北海道夕刊、3面	〔267〕
405	「安齋重男 FREEZE」図録、国立国際美術館、2000年11月、30頁	
406	「安齋重男の眼 1970-1999 写真がとらえた現代美術の30年」図録、国立国際美術館、2000年11月、211頁	
407	石川健次「美術・この1年 ゆめかんだ世紀末 私が選んだ5つの出来事」『毎日新聞』2000年12月12日東京夕刊、6面	〔268〕
2001		
408	「垂直の時間 彫刻―過去・現在・未来―」図録、東京藝術大学彫刻科企画展実行委員会、2001年、33-34頁	
409	「あとかき」『垂直の時間 彫刻―過去・現在・未来―』図録、東京藝術大学彫刻科企画展実行委員会、2001年、39頁	〔289〕 ①-〔64〕
410	編集部「INSPIRE The Happiness―First HEAVEN―by Artist Interview」『Bien Geijutsu club』Vol.8 May-Jun 2001、藝術出版社、2001年、10-14頁	
411	Janet Koplos「Review of Exhibitions : Tokyo : Takashi Fukai at Contemporary Sculpture Center」『Art in America』Sandra Brant、2001年1月、123頁	
412	高島屋美術館「ごあいさつ」『21st CENTURY 男頭展 高島屋美術館 深井 隆』図録、高島屋、2001年3月、3頁	〔273〕
413	「写真家と彫刻家の対話 安齋重男・深井隆」『21st CENTURY 男頭展 高島屋美術館 深井 隆』図録、高島屋、2001年3月、4-7頁	〔274〕 ①-〔52〕
414	深谷徹夫「ゆかりの作家の絵画、彫刻50点を展示-高崎市美術館で来月15日まで/群馬」『毎日新聞』2001年3月28日群馬、26面	〔275〕
415	「見る」『アート/東京』『毎日新聞』2001年3月28日東京、26面	〔276〕
416	「21stCENTURY 男頭展高島屋美術館紀 深井隆」『芸術新潮』第52巻第4号通巻616号、新潮社、2001年4月1日、145頁（表3）	
417	「アート：ガイド 深井隆展、他」『産経新聞』2001年4月1日東京朝刊、15頁	〔277〕
418	「彫刻になった動物十選1」『日本経済新聞』2001年4月18日朝刊、40面	〔278〕 ①-〔53〕
419	「彫刻になった動物十選2」『日本経済新聞』2001年4月19日朝刊、40面	〔279〕 ①-〔54〕
420	「彫刻になった動物十選3」『日本経済新聞』2001年4月20日朝刊、40面	〔280〕 ①-〔55〕
421	「彫刻になった動物十選4」『日本経済新聞』2001年4月23日朝刊、40面	〔281〕 ①-〔56〕
422	「彫刻になった動物十選5」『日本経済新聞』2001年4月24日朝刊、40面	〔282〕 ①-〔57〕
423	「彫刻になった動物十選6」『日本経済新聞』2001年4月26日朝刊、40面	〔283〕 ①-〔58〕
424	「彫刻になった動物十選7」『日本経済新聞』2001年4月27日朝刊、44面	〔284〕 ①-〔59〕
425	「彫刻になった動物十選8」『日本経済新聞』2001年4月30日朝刊、40面	〔285〕 ①-〔60〕
426	「彫刻になった動物十選9」『日本経済新聞』2001年5月2日朝刊、44面	〔286〕 ①-〔61〕
427	「彫刻になった動物十選10」『日本経済新聞』2001年5月3日朝刊、44面	〔287〕 ①-〔62〕
428	「INSPIRE The Happiness―First Heaven―by Artist Interview FUKAI Takashi 深井隆」『B i e n』vol.8、藝術出版社、2001年5月、12頁	〔288〕 ①-〔63〕
429	藤原えりみ「入学できなくても展覧会には行ってみよう。いざ東京芸術大学に!!」『BRUTUS』第22巻第19号通巻488号、2001年10月、マガジンハウス、23頁	〔290〕
430	大西吾人「木彫の多彩な特質再発見 東京芸大彫刻科「垂直の時間」展（美術）」『朝日新聞』2001年10月18日夕刊、4面	〔291〕
431	石川健次「彫刻の歩みをダイナミックに滑み、受け継がれる本質や魅力 垂直の時間 彫刻―過去・現在・未来―」『毎日新聞』2001年10月22日夕刊、8面	〔292〕
432	（前）「『美術』「垂直の時間」展 西洋の彫刻観と1線、「木彫」の可能性を提示」『読売新聞』2001年10月24日東京夕刊、13面	〔293〕
433	「天平の菩薩像から現代彫刻までかたちに流れる日本のこころ」『GQ Japan』第9巻11号通巻105号、嶋中書店、2001年11月、189頁	
434	「黒板」『東京新聞』2001年12月19日夕刊、9頁	〔123〕
2002		
435	「日韓現代美術展」図録、日本／日韓現代美術展実行委員会・韓国／韓国現代美術展実行委員会、2002年、44頁	〔302〕
436	「展覧会の記録 脱・現代美術教養論」『板橋区立美術館概要 平成11・12・13年度』板橋区立美術館、2002年、18頁	
437	「展覧会の記録 アトリエの謎 ニュージウム・コレクション'79-'99 Part III」『板橋区立美術館概要 平成11・12・13年度』板橋区立美術館、2002年、20頁	
438	「展覧会の記録 作品を読む」『板橋区立美術館概要 平成11・12・13年度』板橋区立美術館、2002年、31頁	

439	『資料収集』『板橋区立美術館概要 平成11・12・13年度』板橋区立美術館、2002年、115頁	
440	新明英仁「作品のひとつと集い」『本影博物館：自然と芸術の語らい』開館20周年所蔵品展』図録、北海道立旭川美術館、2002年、A4×8枚組の1枚(8枚目)	〔310〕
441	「設立10周年を迎えたタカシマ文化基金受賞作家による記念展覧会を開催」『月刊美術』第28巻第1号通巻316号、サン・アート、2002年1月、51頁	
442	「第12回タカシマ美術賞」『美術の窓』第21巻第3号通巻225号、生活の友社、2002年1月、82頁	
443	「[THE PERSON NOW] 深井隆 Takashi Fukai」『アート・トップ』NO.184、芸術新聞社、2002年2月、97頁	〔294〕 ①-〔65〕
444	「素材などにスポット 高崎美術館で「アート技法事典」開催／群馬」『朝日新聞』2002年2月26日群馬朝刊、34面	〔295〕
445	「展覧会：アート技法事典」『日本経済新聞』2002年3月4日夕刊、10面	〔296〕
446	「文化イベント：アート技法事典」『日本経済新聞』2002年3月9日群馬、43面	〔297〕
447	「東京藝術大学学長退官記念 澄川喜一展〜そのあるかた 楽しみな新しい「澄川喜一の世界」深井隆」『新美術新聞』2002年3月11日、美術年鑑社、1面	〔298〕 ①-〔67〕
448	「本質を見抜く力」『東京藝術大学学長退官記念一そりのあるかたー澄川喜一展』図録、高島屋美術館、2002年3月、26頁	〔299〕 ①-〔66〕
449	秋山庄太郎「秋山庄太郎の「現代日本の作家たち」 深井隆」『月刊美術』第28巻第4号通巻319号、サン・アート、2002年4月、63-65頁	〔300〕
450	「ぐんま新時代の群像高崎地区②世界に羽ばたく才能」『上毛新聞』2002年4月14日、1面	〔301〕
451	住田常生「[Preview] 深井隆展一逃れゆく思念-」『アート・トップ』No.186、芸術新聞社、2002年6月、73頁	〔303〕
452	「上州風エッセイ」 江戸の彫刻」『上州風』11号、上毛新聞社、2002年7月、98頁	〔304〕 ①-〔68〕
453	「日本近代彫刻の流れ」図録、北見市美術展実行委員会、2002年7月、52頁	
454	「白藤史朗の世界、第8回群馬アジア映画祭、他(文化イベント)」『日本経済新聞』2002年7月26日群馬、43面	〔305〕
455	「ごあいさつ」『深井隆展一逃れゆく思念-』図録、現代彫刻センター、2002年8月、5頁	〔306〕
456	住田常生「非在の条件」『深井隆展一逃れゆく思念-』図録、現代彫刻センター、2002年8月、6-7頁	〔307〕
457	「権と時間と私」『深井隆展一逃れゆく思念-』図録、現代彫刻センター、2002年8月、25頁	〔308〕 ①-〔69〕
458	三田晴夫「深井隆展 人間内の矛盾をえぐる」『毎日新聞』2002年8月27日東京夕刊、6面	〔309〕
459	住田常生「深井隆「非在の風景あるいは喪失感」」『新美術新聞』2002年9月1日、美術年鑑社、1頁	〔311〕
460	(盛)「寓意と幻想物語を編む木彫(ナビゲーター)」『朝日新聞』2002年9月7日夕刊、13面	〔312〕
461	「展覧会PREVIEW 深井隆展一逃れゆく思念-」『美術の窓』第21巻第10号通巻232号、生活の友社、2002年9月、142頁	
462	「一旅-」『扇状舞台』富山市民文化事業団機関誌2002VOL.15、財団法人富山市民文化事業団、2002年11月、8-9頁	〔124〕
463	「澤澤喜治の華やかな実業家ライフ、他(文化イベント)」『日本経済新聞』2002年11月22日栃木、42面	〔313〕
464	橋本麻里「クソノキに刻まれた想像の翼(ART BIT:3・6)」『AERA』2002年12月23日号、朝日新聞出版、102頁	〔314〕
2003		
465	長谷川裕、前田明範「あいさつ」『第6回倉吉：緑の彫刻賞受賞記念展』図録、倉吉博物館、2003年、4頁(頁表記なし)	〔322〕
466	澁川喜「第6回受賞記念展によせて」『第6回倉吉：緑の彫刻賞受賞記念展』図録、倉吉博物館、2003年、5頁(頁表記なし)	〔323〕
467	前田明範「第6回倉吉：緑の彫刻賞を迎えて」『第6回倉吉：緑の彫刻賞受賞記念展』図録、倉吉博物館、2003年9月、6頁(頁表記なし)	〔324〕
468	「2003 韓国現代美術展」図録、韓・日実行委員会、2003年、63頁(頁表記なし)	
469	「2002 韓国現代美術展」図録、韓・日現代美術展・韓・日実行委員会・在韓大韓民国日本国大使館公報文化院、2003年、37頁(頁表記なし)	
470	「日本の春幸田コレクションより」東京オペラシティアートギャラリー、2003年、三つ折りリーフレット内側中央	〔315〕
471	酒井忠康「深井隆氏への手紙」『彫刻家への手紙 現代彫刻の世界』未知谷、2003年1月、286-290頁	
472	田中修二「近現代日本彫刻の流れ-多様さの持続性」『月刊美術』第29巻4号通巻331号、サン・アート、2003年4月、45-48頁	〔316〕
473	清水秀作「彫刻市場の今 未知の分野の可能性に期待感」『月刊美術』第29巻4号通巻331号、サン・アート、2003年4月、55-58頁	〔317〕
474	「可能性、深井隆から三沢厚彦までをプロデュース 西村画廊・西村建治氏に聞く 肝心なのは作品の魅力、送り手の覚悟」『月刊美術』第29巻4号通巻331号、サン・アート、2003年4月、58頁	〔318〕
475	「ロンドン留学で得た確信」『月刊美術』第29巻4号通巻331号、サン・アート、2003年4月、60頁	〔319〕 ①-〔70〕
476	「掲載17作家のコメント」『月刊美術』2003年4月号、サン・アート、61頁	〔320〕
477	藤田直由美「Angels 天使たちの長い夜(講談社ノベルス)」講談社、2003年5月、表紙	
478	藤田直由美「あとがき」『Angels -天使たちの長い夜-』講談社、2003年5月、288-290頁	〔321〕
479	佐々木洋「[倉吉：緑の彫刻賞]3作家がきょうから受賞記念展40作品紹介/鳥取」『毎日新聞』2003年9月6日鳥取、23面	〔325〕
480	「倉吉市の「緑の彫刻賞」埼玉の西さんら3人に/鳥取」『朝日新聞』2003年9月12日鳥取朝刊、29面	〔326〕
481	「第6回倉吉・緑の彫刻賞受賞記念展」『新美術新聞』2003年9月21日、美術年鑑社、9面	〔327〕
482	「対談：平柳田中寅をめぐって いま木彫再燃のとき 深井隆VS 戯内俊斗司」『新美術新聞』2003年9月21日、美術年鑑社、9面	〔328〕 ①-〔71〕
483	「タウソ 板橋 子どもたちがアート作品」『東京新聞』2003年9月22日朝刊東京版、23頁	
484	「相生森林美術館開館10周年記念展 平柳田中と田中寅の作家たち」図録、相生森林美術館、2003年10月、32頁	
485	「展覧会」『東京新聞』2003年12月9日夕刊、8頁	
2004		
486	「日韓現代美術展」図録、日本/日韓現代美術展実行委員会、2004年、34頁	〔336〕
487	高松市美術館ほか編「アンテスとカチーナ人形」図録、美術館連絡協議会、2004年、4頁	
488	「西海田百景 1997+2004」TAKENAKA CORPORATION Hanshin Nishiumeda Design Group、2004年、48頁	
489	「海望む、現代アートの空間 ところミュージアム大三島が完成/愛媛」『朝日新聞』2004年4月15日愛媛朝刊、28面	〔329〕
490	「現代アートの空間 ところミュージアム大三島が完成 愛媛/香川」『朝日新聞』2004年4月20日香川朝刊、33面	〔330〕
491	伊藤佳之「深井隆 強い香りに包まれないから、木と向き合います」『木でつくる美術』図録、群馬県立館林美術館、2004年6月、36-37頁	〔331〕
492	伊藤佳之、神尾玲子「深井隆」『木でつくる美術』図録、群馬県立館林美術館、2004年6月、42頁	〔332〕
493	「[五感で愉しむギリシャ]間」欠落からつむがれる豊穡な物語」彫刻家 深井隆」『アート・トップ』No.198、芸術新聞社、2004年7月、30-33頁	〔333〕 ①-〔72〕
494	中野秀喜「企画展「木でつくる美術」-県立館林美術館/群馬」『毎日新聞』2004年8月4日群馬、21面	〔334〕
495	「現代彫刻美術館 ところミュージアム大三島 一個人の夢が結実 絶景を望む地に現代彫刻の楽しい館が」『月刊美術』第30巻10号通巻349号、サン・アート、2004年10月、66-71頁	〔335〕
496	「ごあいさつ」『Pari New York』東京藝術大学彫刻科、2004年4月、3頁	
497	「可能性・ニューーク」『Pari New York』東京藝術大学彫刻科、2004年4月、4頁	〔125〕
498	「月の庭-山の辺-」『長野市 野外彫刻賞 30周年記念誌』長野市、2004年5月、242-243頁	〔126〕
2005		
499	出田有里「深井隆」『りんごの秘密』図録、ひろしま美術館、2005年、192頁	〔339〕
500	「日韓友情年2005 記念 もってこいの友情のかたち 日韓現代美術特別展」図録、日韓現代美術展実行委員会、2005年、54・111頁	
501	「韓国現代美術特別展」図録、韓国美術文化協会・文化日報社、2005年、106・114頁	
502	「アーティスト・ワーク 永遠を奏でる彫刻群」『Bien Japanese originality for multinational people』Vol.31 Mar-Apr 2005、藝術出版社、2005年、28頁	〔127〕

503	『展覧会への記録 FUSION MUROMACHI-NOW 〜時空を超えて融合するアート〜』『板橋区立美術館概要 平成14・15・16年度』板橋区立美術館、2005年、37頁	
504	『展覧会への記録 館蔵品展 春の風景 Spring Garden』『板橋区立美術館概要 平成14・15・16年度』板橋区立美術館、2005年、55頁	
505	『教育普及活動』『板橋区立美術館概要 平成14・15・16年度』板橋区立美術館、2005年、106頁	
506	『資料集録』『板橋区立美術館概要 平成14・15・16年度』板橋区立美術館、2005年、125頁	
507	『東京藝術大学・韓国芸術総合大学交流展』図録、ハンガラム美術館ソウル・東京藝術大学大学院美術館、2005年、116―117頁	『344』
508	『ビッグ・ウェブ2』図録、高島屋美術館、2005年2月、16―17頁	
509	三田晴夫「挑戦する立体表現 〜インスタレーションから彫刻へ〜 インスタレーション以後」の彫刻『B i e n』vol.31、藝術出版社、2005年3月、8―11頁	『337』
510	〔編集委員〕本郷寛、館山拓人、瀧谷収、岩崎幸之助「鈴木実のかたち」の意味するもの 対談：加藤直雄、大成浩、深井隆、本郷寛『シンポジウム記録 彫刻家鈴木実とかたち』研究会『彫刻家・鈴木実とかたち』実行委員会、2005年3月、15―25頁	『338』 【128】
511	『深井 隆 Fukai Takashi』『ART BOX IN JAPAN 現代日本の彫刻vol.1』ARTBOX インターナショナル、2005年5月、170―171頁	『340』 ①―〔73〕
512	『交遊抄 映画好きの夢』、『日本経済新聞』2005年5月14日、40面	『341』 ①―〔74〕
513	『V 名画から学ぶ作品集』『クレバス画事典』サクラクレバス出版部、2005年5月、139頁	『342』
514	安斎重男「みかん畑の巨大なはな（ところミュージアム大三島）』『草月』280号、草月会出版部、2005年6月、50―53頁	『343』
515	『ところミュージアム大三島』『環境デザイン・ペストライヴ』グラフィック社、2005年9月、20―23頁	『345』
516	『立体・工芸 マリオン 深井隆展―はじまりの物語』『朝日新聞』2005年10月6日夕刊、7面	『346』
517	『はじまりの物語』『深井隆展 はじまりの物語』、アートシード東京、2005年10月、リーフレット	『347』 ①―〔75〕
518	『ふるさと苑 展覧会』『東京新聞』2005年10月27日朝刊、22頁	
519	（H・S）『（北の美術）「逃れゆく思念―青空または瞑想」木郷・深井隆／北海道』『朝日新聞』2005年11月4日北海道総合朝刊、24面	『348』
520	『木郷継承、18人展覧会 来月、芸大教授に願いかなう 平柳田中の旧邸／東京都』『朝日新聞』2005年12月22日朝刊、31面	『349』
2006		
521	黄金の美術館展実行委員会『深井隆』『美術に見る金の素材と表現 黄金の美術館展』図録、黄金の美術館展実行委員会、2006年、76頁	『360』
522	『1.展覧会事業（1）常設展 2002年度常設展Ⅱ』『新潟市美術館年報 vol.4 2000-2004』新潟市美術館、2006年、15―16頁	
523	『韓日現代美術展』図録、韓日美術文化協会・文化日報社、2006年、68頁	
524	『第1回アトリエの未裔あるいは未来』図録、アトリエの未裔あるいは未来展実行委員会、2006年1月、リーフレット	『350』
525	『日本の木彫の今を知る 「アトリエの未裔あるいは未来」展』美術の意 第25巻第1号通巻275号、生活の友社、2006年1月、23頁	『351』
526	『展覧会：アトリエの未裔あるいは未来展』『毎日新聞』2006年1月11日東京夕刊、6面	『352』
527	田中三蔵（「ナビゲーター」『彫刻の現在』多様な顔）『朝日新聞』2006年1月17日夕刊、7面	『353』
528	『日本の木彫家が語る シュテファン・バルケンホール（巻頭特展）好きな人物画-Part.1』『美術の意』第25巻第1号通巻275号、生活の友社、2006年1月、20―23頁	『354』
529	『新市誕生記念展 高崎アートフェスタ 高崎ゆかりの作家たち』図録、高崎市美術館、2006年2月、13頁	『355』
530	武田厚『彫刻家の現場から ①深井隆 Takashi Fukai』『美術の意』第25巻4号通巻278号、2006年3月、生活の友社、114―117頁	『356』
531	『常設展 中原二郎と中原寛の作家たち』『平成16（2004）年度 中原二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原二郎記念旭川市彫刻美術館、2006年3月、2―3頁	
532	『企画展 開館10周年記念 中原二郎賞受賞作家による～彫刻家の素描展』『平成16（2004）年度 中原二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原二郎記念旭川市彫刻美術館、2006年3月、6―11頁	
533	『平成16年度新管理作品』『平成16（2004）年度 中原二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原二郎記念旭川市彫刻美術館、2006年3月、25―29頁	
534	『神田の新しい彫刻「風と物語」』『KANDA ルネッサンス 77』第21巻2号、NPO法人神田学会、2006年4月、7頁	【129】
535	『日経ヘルスケア 21』第200号、日経 BP 社、2006年6月、表紙・7頁	『357』
536	『小さなメモ帳』佐藤卓監修『デザイナーと道具』図録、美術出版社、2006年6月、128頁	『358』 ①―〔76〕
537	『深井隆』佐藤卓監修『デザイナーと道具』図録、美術出版社、2006年6月、131頁	『359』
538	松坂屋美術館（無題文章）『深井隆』図録、松坂屋美術館、2006年10月、2頁（頁表記なし）	『361』
539	『展覧会／徳島県』『朝日新聞』2006年10月26日徳島全県・2地方朝刊、33面	『362』
540	加藤明子『「深井隆―月と物語―」・那須・相生森林美術館、あすから／徳島』『毎日新聞』2006年10月26日徳島、27面	『363』
541	相生森林美術館「ごあいさつ』『深井隆―月と物語―』図録、相生森林美術館、2006年10月、4頁	『364』
542	『月の庭』『深井隆―月と物語―』図録、相生森林美術館、2006年10月、6―7頁	『365』 ①―〔77〕
543	東浦博史『深井隆 木から生まれる物語』『深井隆―月と物語―』図録、相生森林美術館、2006年10月、26―27頁	『366』
544	第8回大分アジア彫刻展の審査に参加して『第8回大分アジア彫刻展』図録、大分アジア彫刻展実行委員会、2006年10月、8頁	【130】
545	『札幌芸術の森情報誌ルシア』vol.81 2006 3rd、札幌芸術の森 財団法人札幌市芸術文化財団、2006年11月、7頁	
546	『舟越桂枝』『アート・トップ』新装刊1号通巻212号、芸術新聞社、2006年11月、60頁	【131】
547	『「Turning Point（File01）舟越桂枝×1991年×「水の上の振り子」」自分の思いと形を結ぶ意識を』『アート・トップ』新装刊1号通巻212号、芸術新聞社、2006年11月、71頁	
548	『話題の展覧会』『美術の意』第25巻第12号通巻286号、生活の友社、2006年11月、256頁	
549	『あとがき』『第2回「アトリエの未裔あるいは未来」』図録、アトリエの未裔あるいは未来展実行委員会、2006年12月、32頁	『367』 ①―〔78〕
2007		
550	斎藤雅一（挨拶文）『第1回井の会』アートシード、2007年、四つ折りリーフレット外側右端	『372』
551	越智忍「ごあいさつ』『深井隆―月に座す』図録、今治市大三島美術館、2007年、3頁（頁表記なし）	『375』
552	三上満良『魔法の椅子、あるいは思索する彫刻』『深井隆―月に座す』図録、今治市大三島美術館、2007年、4―5頁（頁表記なし）	『376』
553	『月に座す』『深井隆展―月に座す』図録、今治市大三島美術館、2007年、7頁（頁表記なし）	『377』 ①―〔80〕
554	『日本美術「今」展』図録、日本橋三越、2007年、140頁	『378』 ①―〔81〕
555	高島屋美術館（無題文章）『彫刻 // 新時代 シリーズ vol.1 森淳一展』高島屋、2007年、三つ折りリーフレット裏面左端	
556	『彫刻 // 新時代 シリーズ vol.1 森淳一展』高島屋、2007年、三つ折りリーフレット裏面中央	【132】
557	『立体造形の複眼』図録、松坂屋、2007年、16―17頁	『374』
558	『安斎重男の“私・写・録”1970-2006』図録、国立新美術館、2007年、177頁	
559	『人間の存在を感じる「椅子」深井隆「逃れゆく思念」』『華報』春号2007 vol.11、高島屋クリエイティブ株式会社、2007年、40頁	【133】
560	『MAJOR ART WORK』株式会社 TAK リアルティ、2007年、3頁	
561	高島屋美術館「ごあいさつ』『深井隆―七つの椅子の物語―』図録、高島屋美術館、2007年4月、3頁	『368』
562	『天使は画家たちの永遠のテーマである。』『BRUTUS』第28巻第7号通巻614号、株式会社マガジンハウス、2007年4月、116頁	
563	『物語と私』『思考の情景 池田良ニ×深井隆』図録、高島屋、2007年4月、三つ折りリーフレット左端	『369』 ①―〔79〕
564	高島屋美術館（無題文章）『思考の情景 池田良ニ×深井隆』図録、高島屋、2007年4月、三つ折りリーフレット中央（頁表記なし）	『370』
565	『パリのエスプリ』佐伯祐三と佐野繁次郎展、他（美術がいきどろ）『日本経済新聞』2007年4月18日夕刊、18面	『371』
566	『花はな・展、三人展自然時刻、深井隆展、他（文化イベント）』『日本経済新聞』2007年4月27日群馬、43面	『373』
567	栗田大輔『彫刻が、物語るとき』『物語の彫刻』図録、東京藝術大学彫刻科企画展実行委員会、2007年11月、4―6頁	『379』
568	『あとがき』『物語の彫刻』図録、東京藝術大学彫刻科企画展実行委員会、2007年11月、4頁	『380』 ①―〔82〕

569	「あとがき」『第3回「アトリエの末裔あるいは未来」』図録、アトリエの末裔あるいは未来展実行委員会、2007年11月、32頁	『381』①-〔83〕
570	「視点オピニオン2 1」美術館へ行く』『上毛新聞』2007年12月19日、26頁	『382』①-〔84〕
571	「新潟県美術館・博物館ガイド」新潟市美術館『月刊くるまる』2007年12月号増刊（通巻261号）、ニュース・ライン、2007年10月、17頁	
572	「話題の展覧会 深井 隆展一月に座す」『美術の窓』第26巻17号通巻305号、生活の友社、2007年12月、187頁	
2008		
573	高島屋美術館「ごあいさつ」『深井 隆』図録、高島屋美術館、2008年、3頁	『387』
574	「教育普及活動」『板橋区立美術館概要 平成17・18・19年度』板橋区立美術館、2008年、103・111頁	
575	「資料収集」『板橋区立美術館概要 平成17・18・19年度』板橋区立美術館、2008年、135・136頁	
576	果山健「ごあいさつ」『高崎市美術館コレクションより深井隆展一月の森へ』、高崎市美術館、2008年、A2リーフレット内側	『393』
577	宮谷孝洋子「月の森へ」『高崎市美術館コレクションより深井隆展一月の森へ』、高崎市美術館、2008年、A2リーフレット内側	『394』
578	「スーヴェル・エル美術館の今日展」図録、三越、2008年、5・80頁（頁表記なし）	『396』
579	新宮高島屋美術館（無題文章）『21C／カタチの今 vol.1 具象彫刻は進化する』新宿高島屋、2008年、三つ折りリーフレット外側左端	『398』
580	「具象彫刻は進化する」『21C／カタチの今 vol.1 具象彫刻は進化する』新宿高島屋、2008年、三つ折りリーフレット外側左端	『399』①-〔90〕
581	「内なる楽園 一夢想の旅」『彫刻をめぐる空間』図録、高崎市美術館、2008年、7頁	
582	高島屋美術館（無題文章）『彫刻／新時代 シリーズ vol.2 清水淳彦-水たまりからうまれた-』図録、高島屋、2008年、表2	
583	『彫刻／新時代 シリーズ vol.2 清水淳彦-水たまりからうまれた-』図録、高島屋、2008年、表2	〔134〕
584	「深井 隆 Takashi FUKAI 神との対話 飛翔する椅子」『月刊美術』第34巻第1号通巻388号、サン・アート、2008年1月、79-81頁	『383』
585	「へへの、ウェットな思い、ドライな距離」『アート・トップ』通巻219号第39巻第1号、芸術新聞社、2008年1月、50-51頁	〔135〕
586	「視点オピニオン2 1」創造に大切なもの』『上毛新聞』2008年2月14日、21頁	『384』①-〔85〕
587	「常設展 中原二郎と中原實の作家たち」『平成18(2006)年度 中原二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原二郎記念旭川市彫刻美術館、2008年3月、2-3頁	
588	「深井 隆」『ART BOX IN JAPAN 現代日本の彫刻 vol.2』株式会社 ARTBOX インターナショナル出版編集部、2008年5月、228-229頁	
589	「視点オピニオン2 1」一流の古美術品』『上毛新聞』2008年5月26日、24頁	『385』①-〔86〕
590	「ミナミで遊ぼう イベント暦(08/7月-9月)（アート）」『産経新聞』2008年6月25日大阪夕刊、2008年、8頁	『386』
591	「デパート情報／愛知県」『朝日新聞』2008年7月24日愛知・2地方朝刊、30面	『388』
592	「視点オピニオン2 1」山口薫』『上毛新聞』2008年7月28日、24頁	『389』①-〔87〕
593	本文構成：水口勝男、座談会：内田あぐり、深井隆、鈴木亘彦、元田久治、「美術館X」担当スタッフ 司会：編集部「特集●高島屋美術館Xの挑戦 百年の伝統の中の「異空間」が目指す地点は?」、『月刊美術』No.396、サン・アート、2008年9月、47-51頁	『390』 〔136〕
594	「視点オピニオン2 1」創る行為』『上毛新聞』2008年9月17日、9頁	『391』①-〔88〕
595	「彫刻家・深井さん、最新作など展示 高崎のギャラリー、来月3日から個展」『群馬県』『朝日新聞』2008年9月23日群馬全県・2地方朝刊、30面	『392』
596	「第115回前橋テルサロビンコンサート芝居屋らぶヨロコンデ、他（文化イベント）」『日本経済新聞』2008年10月3日群馬、43面	『395』
597	「視点オピニオン2 1」美術館』『上毛新聞』2008年10月15日、9頁	『397』①-〔89〕
598	「あとがき」『第4回「アトリエの末裔あるいは未来」』図録、「アトリエの末裔あるいは未来」展実行委員会、2008年10月、31頁	〔400〕①-〔91〕
599	「第9回大分アジア彫刻展の審査に思うこと」『第9回大分アジア彫刻展』図録、大分アジア彫刻展実行委員会、2008年10月、8頁	〔137〕
2009		
600	斎藤雅「挨拶文」『第2回井の会』アートシード、2009年、四つ折りリーフレット外側左端	〔407〕
601	「話題の展覧会●デパート」『美術の窓』第28巻第11号通巻333号、生活の友社、2009年11月、163頁	
602	「2007年10月韓現代美術展」図録、日韓現代美術展実行委員会、2009年、31・59頁	
603	「Drawing of the World」World of Drawing」図録、Museum of Art Seoul National University、2009年、61頁（頁表記なし）	
604	「月の庭 深井 隆 彫刻展」、高島屋、2009年、二つ折りリーフレット表2	〔406〕①-〔94〕
605	高島屋美術館（無題文章）『月の庭 深井 隆 彫刻展』高島屋、2009年、二つ折りリーフレット表2	〔405〕
606	高島屋美術館（無題文章）『彫刻／新時代 シリーズ vol.3 土屋仁広展』図録、高島屋、2009年、表2	
607	「愛さずにはいられない、小さな仲間たちへ」『彫刻／新時代 シリーズ vol.3 土屋仁広展』図録、高島屋、2009年、表2	〔138〕
608	高島屋美術館（無題文章）『彫刻／新時代 シリーズ vol.4 滝上優展-佇む人間-』図録、高島屋、2009年、表2	
609	「滝上さんの坐像」『彫刻／新時代 シリーズ vol.4 滝上優展-佇む人間-』図録、高島屋、2009年、表2	〔139〕
610	「深井隆「流れゆく思念」」『開館35周年記念特別展 倉吉トリエンナーレ美術賞回顧展』図録、倉吉博物館、2009年、32頁	
611	「常設展 中原二郎と中原實の作家たち」『平成19(2007)年度 中原二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原二郎記念旭川市彫刻美術館、2009年3月、2-3頁	
612	「企画展 収蔵品展-気・カタチが宿すもの」『平成19(2007)年度 中原二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原二郎記念旭川市彫刻美術館、2009年3月、9頁	
613	「能し／富山県」『朝日新聞』2009年5月27日富山全県・2地方朝刊、30面	〔401〕
614	篠田真由美「Angels 天使たちの長い夜」講談社、2009年8月、表紙	
615	群馬県立近代美術館「深井隆」『群馬の美術 1941-2009』図録、群馬県立近代美術館、2009年9月、97頁	〔402〕
616	「遊ナビ：ギャラリー／東京」『毎日新聞』2009年10月8日東京朝刊、19面	〔403〕
617	「あとがき」『第5回「アトリエの末裔あるいは未来」』+台東区立青道博物館展』図録、「アトリエの末裔あるいは未来」展実行委員会、2009年10月、21頁	〔404〕①-〔93〕
618	「展覧会ガイド 一月の庭-深井 隆 彫刻展」『アートコレクター』第2巻第6号通巻8号、生活の友社、2009年10月、74頁	
619	「羊の手 CHRONICLE-深井隆作品集-」2009年11月	〔408〕①-〔92〕
2010		
620	「国際交流作品展」図録、國立臺灣藝術大學・DAEGU UNIVERSITY、2010年、80頁	
621	陳植利明「深井 隆」『創造と回帰 現代木彫の潮流』図録、北海道近代美術館、2010年、7頁	〔409〕
622	新宮高島屋美術館「ごあいさつ」『21C／カタチの今 vol.2 思考する人体・語りかける彫刻』高島屋、2010年、二つ折りリーフレット表4	
623	「思考する人体・語りかける彫刻」『21C／カタチの今 vol.2 思考する人体・語りかける彫刻』高島屋、2010年、二つ折りリーフレット表4	〔140〕
624	高島屋美術館（無題文章）『彫刻／新時代 シリーズ vol.5 小俣実彦展』図録、高島屋、2010年、表2	
625	「小俣さんの心臓」『彫刻／新時代 シリーズ vol.5 小俣実彦展』図録、高島屋、2010年、表2	〔141〕
626	「管理作品 2 貸出作品」『平成20(2008)年度 中原二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原二郎記念旭川市彫刻美術館、2010年、17頁	
627	『彫刻の五・七・五 美術系大交流展』図録、現代彫刻研究会、2010年3月、52頁	
628	「常設展 中原二郎と中原實の作家たち」『平成20(2008)年度 中原二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原二郎記念旭川市彫刻美術館、2010年3月、2-3頁	
629	「企画展 収蔵品展-Bon voyage! アートの旅」『平成20(2008)年度 中原二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原二郎記念旭川市彫刻美術館、2010年3月、8-9頁	
630	「審査の感想」『第10回大分アジア彫刻展』図録、大分アジア彫刻展実行委員会、2010年10月、8頁	〔142〕
631	「あとがき」『第6回「アトリエの末裔あるいは未来」』+青道博物館展』図録、「アトリエの末裔あるいは未来」展実行委員会、2010年10月、18頁	〔410〕①-〔95〕
632	「sotokoro trail mix : art trail」『ソトコト』第12巻第11号（通巻137）、木楽舎、2010年11月、159頁	
633	「講座・講演 マリオン アートによる観光、公共とはどうあるべきか?」『朝日新聞』2010年11月2日夕刊、3面	〔411〕

2011	
634	高島屋美術館「ごあいさつ」『木の系譜三代展』図録、高島屋美術館、2011年、3頁
635	大野正勝「『木の系譜』その後」『木の系譜三代展』図録、高島屋美術館、2011年、4－5頁
636	現代のクレパス画展』図録、田辺市立美術館、2011年、36頁
637	『教育普及活動』『板橋区立美術館概要 平成20・21・22年度』板橋区立美術館、2011年、105・120頁
638	『資料収集』『板橋区立美術館概要 平成20・21・22年度』板橋区立美術館、2011年、150頁
639	『展覧会の記録 3 群馬の美術 1941-2009－群馬美術協会の結成から現代まで－』『群馬県立近代美術館年報 平成21年度』群馬県立近代美術館、2011年、17頁
640	『月の庭－森に立つ－』『木のデザイン展』図録、脇田美術館、2011年、38頁
	【143】
641	『大杉彦・深井隆 1951（昭和26）年 - 80（逃れゆく思念 - 89A）1989（平成元）年』『抱きしめたい！近代日本の木彫展』図録、高崎市美術館・碧南市藤井達吉現代美術館・広島県立美術館、2011年、161頁
642	『抱きしめたい！近代日本の木彫展』図録、高崎市美術館・碧南市藤井達吉現代美術館・広島県立美術館、2011年、108頁
	【415】
643	高島屋美術館（無題文章）『彫刻 // 新時代 シリーズ vol.6 原真一展－拾いもの－』図録、高島屋、2011年、表2
644	『物語の行方』『彫刻 // 新時代 シリーズ vol.6 原真一展－拾いもの－』図録、高島屋、2011年、表2
	【144】
645	『21世紀のアーティスト 土屋仁応』『ギャラリー』vol.1 通巻309号、ギャラリーステーション、2011年1月、47－51頁
646	『Part6 人気作家が選ぶ 彫刻家 深井隆』『アートコレクション』第4巻第2号通巻16号、生活の友社、2011年2月、33頁
	【145】
647	『常設展 中原二郎と中原賞の作家たち』『平成21（2009）年度 中原二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原二郎記念旭川市彫刻美術館、2011年3月、2－3頁
648	『企画展 中原二郎賞創設40周年記念展』『平成21（2009）年度 中原二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原二郎記念旭川市彫刻美術館、2011年3月、8－10頁
649	『中原二郎賞創設40周年記念』図録、中原二郎記念旭川市彫刻美術館、2011年3月、29頁
650	『2011 彫刻五・七』五国際藝術大学交展展』図録、國立臺北藝術大學美術學院、2011年6月、119頁
651	大西若人「木彫、現代美術と復権 古風な手法とデジタル時代の出会い」、『朝日新聞』2011年7月20日朝刊、31面
	【414】
652	『彫刻の時間－継承と展開－』展を開催するにあたって『彫刻の時間－継承と展開－』図録、藝文美術館ミュージアムショップ／（有）六文舎、2011年10月、11頁
	【417】 ①-【96】
653	大西若人「木彫、時代のうねり刻む 仏像・人物・抽象… 西洋の影響も、東京と愛知で展覧会』『朝日新聞』2011年11月2日夕刊、3面
	【418】
654	『彫刻の時間－継承と展開－ 彫刻科現職教員出品目録』東京芸術大学 彫刻科企画展実行委員会、2011年12月、11－14頁
	【419】
2012	
655	高島屋美術館「ごあいさつ」『深井隆彫刻展－気配』図録、2012年、2頁
	【420】
656	（無題文章）『深井隆彫刻展－気配』図録、高島屋美術館、2012年、12頁
	【421】 ①-【97】
657	『たまもの 埼玉県立近代美術館のコレクションより』図録、埼玉県立近代美術館、2012年、133頁
658	ino.4 4深井隆 [1951-] 本のある風景－矢張り 1980年『ゆく河の流れ－美術と旅と物語』図録、栃木県立美術館・美術館連絡協議会、2012年、29頁
	【146】
659	『時は旅をする』図録、高島屋、2012年、表紙・1頁・裏表紙
	【147】
660	『第三回国際彫塑形塑展 暨競賽專刊』図録、國立臺灣藝術大學美術學院彫塑系、2012年、10頁
661	新宿高島屋美術館展「ごあいさつ」『21C//カタチの今 vol.3 熱い彫刻・1200℃の夢』高島屋、2012年、二つ折りリーフレット表4
662	『熱い彫刻・1200℃の夢』『21C//カタチの今 vol.3 熱い彫刻・1200℃の夢』高島屋、2012年、二つ折りリーフレット表4
663	『第7回アトリエの未裔あるいは未来』東京芸術大学 彫刻科企画展実行委員会、2012年、十二折りリーフレット
	【423】
664	『展覧会35年史+』『西村画展35年+』求龍堂、2012年、107・112・116・126・138・145・149・150頁
665	『PREVIEW時は旅をする JOURNEY ACROSS THE TIME』『美術の恋』第31巻第3号通巻362号、生活の友社、2012年3月、137頁
666	『月光、白、夕日…お似合いの色は 上野・西郷さんライトアップ実験』『東京新聞』2012年6月16日朝刊生活版、20頁
	【149】
667	『展覧会』『東京新聞』2012年8月20日夕刊、5頁
668	『審査所感』『第11回大分アジア彫刻展』図録、大分アジア彫刻展実行委員会、2012年10月、8頁
	【150】
669	『東京駅復元 赤れんがものがたり（上）困難極めた工事』『東京新聞』2012年10月2日朝刊、28頁
	【151】
670	『県立近代美術館で人気スト10展 1位彫刻「風の中へ」』立休作品人気集める』『東京新聞』2012年10月26日朝刊埼玉版、26頁
671	西岡一正「響きあう、木彫と色彩彫刻家の須田悦弘と柳田康司、個展 群馬では企画展』『朝日新聞』2012年11月14日夕刊、3面
	【422】
2013	
672	名古屋松坂屋美術館「ごあいさつ」『21世紀の立体造形－シリーズ最終章－』図録、松坂屋名古屋店、2013年、2頁
673	『常設展の記録』『群馬県立近代美術館年報 平成23年度』群馬県立近代美術館、2013年、38頁
674	星野清一「彫刻に陽を当てた高島屋美術館」『高島屋美術館百年史』高島屋、2013年、56－65頁
675	諸山正則「高島屋美術館と工芸」『高島屋美術館百年史』高島屋、2013年、66－79頁
676	編集部「21世紀の幕開けを飾った「男唄展」』『高島屋美術館百年史』高島屋、2013年、90－96頁
677	編集部「先達の偉業と新たな世界を見せた「美術館創設百年記念展」』『高島屋美術館百年史』高島屋、2013年、97－107頁
678	編集部「『資料館』記録にみる高島屋の美術文化活動」『高島屋美術館百年史』高島屋、2013年、169－192頁
679	編集部「『資料館』高島屋美術館活動年表」『高島屋美術館百年史』高島屋、2013年、193－357頁
680	『Dの3行目「深井隆」第8回アトリエの未裔あるいは未来』図録、東京藝術大学美術学部彫刻科「第8回アトリエの未裔あるいは未来」実行委員会、2013年11月、40頁
	【439】
681	『国際木彫藝術交流展』図録、苗栗縣政府國際文化觀光局、2013年、109頁
682	岐阜県美術館 廣江泰孝編『クレパス画名作展：近代の巨匠から現代の作家まで』公益財団法人日動美術財団、2013年、11頁
683	松坂屋美術館「ごあいさつ」『一本の造形－探究する三人展』図録、松坂屋名古屋店、2013年2月、裏表紙
684	『一本の造形－探究する三人展』図録、松坂屋名古屋店、2013年2月、5－6頁
685	『永遠のブレイク』『悠久』『月の庭－弥六滔にて－』『URABANDI KOGEN HOTEL ART BOOK』株式会社アサヒプロパティズ、2013年、16－17頁
686	『インフォメーション』愛知県 会と催し 松坂屋名古屋店『朝日新聞』2013年2月23日朝刊愛知、32面
	【425】
687	『本江邦夫の「今日は、ホンネで」第58回からっぱの椅子が暗喩する哲学的思考』『月刊美術』第39巻2号通巻449号、サン・アート、2013年2月、93－98頁
	【424】 ①-【98】
688	『手塚雄二・深井隆二人展－月語り－』『月刊美術』第39巻第4号通巻451号、2013年3月、51頁
689	『それぞれの月が語り合う 日本画家・手塚雄二×彫刻家・深井隆』『月刊美術』第39巻第4号通巻451号、2013年3月、108－109頁
	【152】
690	『[ART プラス] 彫刻素材 変化は必然』『読売新聞』2013年4月8日夕刊、9面
	【426】
691	『物質と彫刻－近代のアリアと形なるもの－』図録、東京藝術大学美術学部彫刻科、2013年4月、18－19頁
	【427】
692	大西若人「物質性問い直す彫刻たち 東京芸大で企画展』『朝日新聞』2013年4月17日夕刊、3面
	【428】
693	『春の褒章723人13団体 松任谷由実さんら受章』『朝日新聞』2013年4月28日朝刊、38面
	【429】
694	『春の褒章723人13団体』『産経新聞』2013年4月28日大阪朝刊、22頁
	【430】
695	『春の褒章 紫綬褒章 受章者』『産経新聞』2013年4月28日東京朝刊、24頁
	【431】
696	『春の褒章受章者』『日本経済新聞』2013年4月28日朝刊、26面
	【432】
697	『春の褒章：723人、13団体が受賞』『毎日新聞』2013年4月28日西部朝刊、24面
	【433】
698	『春の褒章：723人が受賞』『毎日新聞』2013年4月28日東京朝刊、24面
	【434】

699	「春の褒章 泉関係 21 人」『読売新聞』2013 年 4 月 28 日朝刊、22 面	〔435〕
700	「春の褒章 都内 61 人 1 団体」『読売新聞』2013 年 4 月 28 日朝刊、26 面	〔436〕
701	「春の褒章 723 人 13 団体」『読売新聞』2013 年 4 月 28 日朝刊、30 面	〔437〕
702	神部孝子・山口忠之『手塚雄二・深井隆二人展一語より』図録、紫鴻画廊、2013 年 4 月、1 頁	〔438〕
703	「6 部門入選 467 点展示 泉文会館であすから展覧」『中日新聞』2013 年 5 月 17 日朝刊、19 頁	
704	「相生森林美術館だより」『広報なか』No.92、那賀町企画情報課、2013 年 9 月、20 頁	
705	『藝大通信』27 号、東京藝術大学藝大通信編集部、2013 年 9 月、4—5 頁	
706	『平成 25 年度 東京藝術大学コンサートスケジュール 後期版 2013 年 10 月—2014 年 3 月』東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏藝術センター、2013 年 10 月、表紙	
2014		
707	「第九回アトリエの未裔あるいは未来」図録、「第九回アトリエの未裔あるいは未来」展実行委員会、2014 年、32 頁	〔446〕①—〔101〕
708	D の 3 行目「平欄田中ノート 第二 Ⅱ、田中フィールドとアトリエの未裔、あるいは未来」「第九回アトリエの未裔あるいは未来」図録、「第九回アトリエの未裔あるいは未来」展実行委員会、2014 年、47 頁	
709	「平欄田中ノート 第二 Ⅱ、本展出品に際する引用作品の選択理由（2014 年 7 月時点）から。」(a)「第九回アトリエの未裔あるいは未来」図録、「第九回アトリエの未裔あるいは未来」展実行委員会、2014 年、47 頁	〔153〕
710	高島屋美術館「ごあいさつ」『木の糸譜—進化する奔流』図録、高島屋美術館、2014 年、1 頁	
711	「深井隆『羊の手』—共鳴—より」『深井隆展』、ギャラリー志門、2014 年、二つ折りリーフレット表 2	〔154〕
712	「特別展示 深井隆」『2014 館蔵品展 画家の見つめた戦中・戦後展 焼け跡と絵筆』、板橋区立美術館、2014 年、四つ折りリーフレット外面左端頁	〔440〕
713	高島屋美術館（無題文章）『彫刻 // 新時代 シリーズⅡ vol.1 今野健太展—あいとなるもの—』高島屋、2014 年、二つ折りリーフレット表 2	
714	「人間を捉えつめる人間像」『彫刻 // 新時代 シリーズⅡ vol.1 今野健太展—あいとなるもの—』高島屋、2014 年、二つ折りリーフレット表 2	〔155〕
715	「光堂」『彫刻の五・七・五 HAIKU-Sculpture 2013—かたちで詠む奥の細道—』図録、2013 彫刻の五七五実行委員会、2014 年、47 頁	
716	「展示事業 Ⅱ 中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションぎやらりー（分館） 4 常設展 2」『平成 24（2012）年度 中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館館年報』中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館、2014 年 3 月、7 頁	
717	武田厚「現場 11 深井 隆 黄金の羽—思恋と演出」『彫刻家の現場（アトリエ）から』生活の友社、2014 年 5 月、68—73 頁	
718	「ほっとなび 行楽道楽ガイド ぎやらりーワイド」『東京新聞』2014 年 6 月 5 日朝刊、20 頁	
719	「タリッパ：展覧会—深井隆展」『毎日新聞』2014 年 6 月 16 日東京夕刊、6 面	〔441〕
720	藤「[ART プラス] 記憶や思恋を引き出す翼」『読売新聞』2014 年 6 月 16 日夕刊、10 面	〔442〕
721	長谷部耕二「私の 1 冊 批評の道決めた『刺激物』」『読売新聞』2014 年 6 月 17 日朝刊、34 面	〔443〕
722	「展覧会」『東京新聞』2014 年 6 月 19 日夕刊、9 頁	
723	「[新・現代日本の作家たち アトリエ宮崎 No.22 深井隆] 身辺抄」『月刊美術』サン・アート、2014 年 8 月、95 頁	〔444〕①—〔99〕
724	「受賞教員インタビュー 第 10 回 深井隆」『藝大通信』第 29 号、東京藝術大学藝大通信編集部、2014 年 9 月、2—3 頁	〔445〕①—〔100〕
725	「審査所感」『第 12 回大分アジア彫刻展』図録、大分アジア彫刻展実行委員会、2014 年 10 月、8 頁	〔156〕
2015		
726	高島屋美術館（無題文章）『深井 隆彫刻展 翼—逃れゆく思恋—』高島屋、2015 年、二つ折りリーフレット表 2	〔448〕
727	「深井 隆彫刻展 翼—逃れゆく思恋—」高島屋、2015 年、二つ折りリーフレット表 2	〔449〕①—〔102〕
728	「[アトリエの未裔あるいは未来] 展の未来」『第十回アトリエの未裔あるいは未来』図録、東京藝術大学大学美術学部彫刻科木彫研究室アトリエの未裔あるいは未来実行委員会、2015 年、75 頁	〔450〕①—〔103〕
729	高島屋美術館（無題文章）『彫刻 // 新時代 シリーズⅡ vol.2 角田優展—記録と証明—』高島屋、2015 年、二つ折りリーフレット表 2	
730	「見えないもの、見えるもの」『彫刻 // 新時代 シリーズⅡ vol.2 角田優展—記録と証明—』高島屋、2015 年、二つ折りリーフレット表 3	〔157〕
731	「Thoughts on… TAK-PROPERTY INC. Design & Art Division」株式会社 TAK プロパティ、2015 年、68—71 頁	
732	「CRAY-PAS ART クレパス誕生 90 年 クレパス画名作展」図録、産経新聞大阪本社、2015 年、140・174 頁	
733	「北緯 2 3° 北緯 3 5°—東京藝術大学美術学部 広州美術学院 教員作品共同展」図録、東京藝術大学美術学部・広州美術学院、2015 年、24—25 頁	
734	古左将規「『グローブ 150 号×突破する力：143>田辺小竹 竹工芸作家』『朝日新聞』2015 年 1 月 4 日朝刊、14 面	〔447〕
735	「春展 NAVI PART.1 現代美術：深井隆彫刻展 翼—逃れゆく思恋—」『月刊美術』第 41 巻 4 号通巻 475 号、2015 年 3 月、81 頁	
736	「展覧会」『東京新聞』2015 年 4 月 24 日夕刊、7 頁	
737	「方丈之間想像之外国際彫塑雕塑展」図録、赤松藝術經紀策展有限公司、2015 年 4 月、145—147 頁	
738	「展覧会情報 デパート」『美術の窓』第 34 巻第 5 号通巻 400 号、生活の友社、2015 年 5 月、205 頁	
739	高島屋美術館「ごあいさつ」『時は旅をするⅡ』図録、高島屋、2015 年 5 月、1 頁	
740	出品者—同（川崎麻児、深井隆、山口啓介、吉岡正人）『時は旅をするⅡ』『時は旅をするⅡ』図録、高島屋、2015 年 5 月、3 頁	
741	「時は旅をするⅡ」『時は旅をするⅡ』図録、高島屋、2015 年 5 月、9—11 頁	
742	「相生森林美術館だより」『広報なか』No.116、那賀町企画情報課、2015 年 9 月、13 頁	
743	「[2015 HAIKU-Sculpture in Chiang Mai] 図録、The Contemporary Sculpture Society of Okinawa、2015 年 9 月、52 頁	
744	「逃れゆく思恋—垂直の時間—」『旅鶴』冬号 2015、株式会社ミュージアムスタイルカフェ、2015 年 12 月、47 頁	〔158〕
2016		
745	深井隆「いきものたちのカタチのものがたり」『クリエイションの未来展 第 6 回 宮田亮平監修「いきものたち」』株式会社 LIXIL、2016 年、縦型四つ折りリーフレット	〔451〕①—〔104〕
746	「コレクション展示の記録」『群馬県立近代美術館年報 平成 26 年度』群馬県立近代美術館、2016 年、32 頁	
747	住田常生「章解説 木の部屋—深井隆の世界」『木の部屋—深井隆の世界』展覧会パネル／高崎市美術館、2016 年	〔457〕
748	住田常生「コラヌ 深井隆の『詩』」『木の部屋—深井隆の世界』展覧会パネル／高崎市美術館、2016 年	〔458〕
749	住田常生「5 つの部屋＋1」『木の部屋—深井隆の世界』『木の部屋—深井隆の世界』展覧会解説／高崎市美術館、2016 年	〔459〕
750	高島屋美術館「ごあいさつ」『深井隆』図録、高島屋、2016 年、表 2	〔456〕
751	板橋区立美術館「はじめに」『発信／板橋／2 0 1 6 江戸—現代』図録、板橋区立美術館、2016 年、3 頁	〔460〕
752	「江戸—現代」『発信／板橋／2 0 1 6 江戸—現代』図録、板橋区立美術館、2016 年、4—5 頁	〔461〕①—〔105〕
753	「Sympathy 深井隆・土屋仁広・今野健太展」図録、松坂屋名古屋店、2016 年、1—2 頁	
754	松坂屋名古屋店（無題）「Sympathy 深井隆・土屋仁広・今野健太展」図録、松坂屋名古屋店、2016 年、裏表紙	
755	「第 6 届国際彫塑彫形展 暨歡迎賽事」図録、國立臺灣藝術大學美術學院彫塑系、2016 年、19 頁	
756	「ストイックな木彫像」『山口壮志郎展—天啓—』高島屋、2016 年、二つ折りリーフレット表 2	〔159〕
757	高島屋美術館（無題文章）『彫刻 // 新時代 シリーズⅡ vol.3 小畑多丘展』高島屋、2016 年、二つ折りリーフレット表 2	
758	「フレイトク」『彫刻 // 新時代 シリーズⅡ vol.3 小畑多丘展』高島屋、2016 年、二つ折りリーフレット表 3	〔160〕
759	「展覧会 ★クリエイションの未来展 いきものたち Living Things」深井隆×土屋仁広×中里勇太「東京新聞」2016 年 1 月 6 日夕刊、5 面	
760	「フェルメールとレンブラント、初期浮世絵展、カンパセーション_ピース、他（がいどガイドワイド）—いきものたち 2 月 23 日まで」『日本経済新聞』2016 年 1 月 29 日夕刊、11 頁	〔452〕
761	「台湾地震救援金」『産経新聞』2016 年 2 月 20 日朝刊、25 頁	〔453〕
762	「第 35 回 野外彫写写真コンテスト」『広報ながの』No.1559、長野市、2016 年 2 月、36 頁	

763	『春展 NAVI PART.2 現代アート：Sympathy 深井隆・土屋仁広・今野健太展』『月刊美術』第42巻4号通巻487号、2016年3月、86・94頁	
764	『インフォメーション／愛知県 松坂屋名古屋店』『朝日新聞』2016年3月26日朝刊愛知、26面	【454】
765	『展示事業Ⅱ中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー（分館）1 常設展1』『平成26（2014）年度 中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館、2016年3月、2頁	
766	『展示事業Ⅱ中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー（分館）3 IFDA 関連企画 第2期「椅子×彫刻—機能美と造形美—』『平成26（2014）年度 中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館、2016年3月、3～4頁	
767	『熊本地震救援金』『産経新聞』2016年5月7日朝刊、20頁	【455】
768	『相生森林美術館だより』『広報なか』No.128、那賀町まち・ひと・しごと戦略課、2016年9月、13頁	
769	『審査に思うこと』『第13回大分アジア彫刻展』図録、大分アジア彫刻展実行委員会、2016年10月、8頁	【161】
2017		
770	北川フラム『フーレリ立川パブリックアートプロジェクト 基地の街をアートが変えた』現代企画室、2017年、110頁	
771	『東京藝術大学130周年×三越美展110周年記念 美術学部教員による作品展』図録、三越伊勢丹、2017年、17頁	【162】
772	『東京藝術大学チャリティーオークション展』図録、東京藝術大学、2017年、118頁	
773	『敦煌莫高窟第57窟の彩塑復元』『シルクロード特別企画展 素心伝心 クローン文化財 失われた刻の再生』図録、東京藝術大学シルクロード特別企画展実行委員会、2017年、74～75頁	【163】
774	高島屋美術館（無題文章）『彫刻／新時代 シリーズⅡ vol.4 浅野井春奈展－unconsciousness－』高島屋、2017年、二つ折りリーフレット表2	
775	『ワタナフルワールド』『彫刻／新時代 シリーズⅡ vol.4 浅野井春奈展－unconsciousness－』高島屋、2017年、二つ折りリーフレット表3	【164】
776	『microcsmic spirits』図録、高島屋、2017年3月、27頁	
777	『2 貸出し作品等（1）展覧会等への貸出し』『平成27（2015）年度 中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館、2017年3月、15頁	
778	『第28回平嶋田中書に安藤榮作氏』『新美術新聞』2017年6月11日、3面	
779	『福島県岩磐郷高原ホテルアートに囲まれた至福の宿時間』『日経おとなのOFF』August2017No.196、日経BP社、2017年、100～101頁	
2018		
780	高島屋美術館（無題文章）『彫刻／新時代 シリーズⅡ vol.5 國川裕美展－さきやかな森－』高島屋、2018年、二つ折りリーフレット表2	
781	『國川さんの動物彫刻』『彫刻／新時代 シリーズⅡ vol.5 國川裕美展－さきやかな森－』高島屋、2018年、二つ折りリーフレット表3	【165】
782	『コレクション展示の記録』群馬県立近代美術館年報 平成28年度』群馬県立近代美術館、2018年、36頁	
783	『森羅一秋』『彫刻の五・七・五－かたちで読む春夏秋冬－ 2017 HAIKU-Sculpture』図録、女子美術大学美術館、2018年、98頁	
784	高島屋美術館『ごあいさつ』『在ることについて：東京藝術大学退任記念深井隆展：高島屋美術館開設110年記念』図録、高島屋、2018年、2頁	
785	『在ることについて』『在ることについて：東京藝術大学退任記念深井隆展：高島屋美術館開設110年記念』図録、高島屋、2018年、2頁	【166】
786	彫刻研究室（無題文章）『7つの物語：退任記念深井隆展』図録、東京藝術大学美術学部、2018年、1頁	
787	『7つの物語』『7つの物語：退任記念深井隆展』図録、東京藝術大学美術学部、2018年、10頁	【167】
788	Dの3行目『深井隆一彫り出された翼－』フライヤー、FUKASAKU ART MUSEUM&GALLERY、2018年	
789	『アトリエの未裔あるいは未来 #EXTRA』図録、東京藝術大学美術学部彫本研究室、2018年、24頁	
790	『あとがき』『アトリエの未裔あるいは未来 #EXTRA』図録、東京藝術大学美術学部彫本研究室、2018年、32～33頁	
791	『大学美術館各館の展覧会』『藝える』第3号、東京藝術大学『藝える』編集部、2018年、39頁	
792	『展示事業Ⅱ中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー（分館）4 常設展1』『平成28（2016）年度 中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館、2018年3月、4～5頁	
793	『クローン文化財技術の顕彰と夢くらむ未来に寄せて』『絲綢之路シルクロード』2018年夏号通巻87号、公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団事務局、2018年6月、6～7頁	【462】①-【106】
794	『西日本豪雨災害救援金』『産経新聞』2018年8月7日東京朝刊、21面	
795	『国民文化祭特別企画「巨大寝ころび招き猫」制作公開！』『市報ぶんどのおの』No.161、豊後大野市、2018年8月、21頁	
796	『第14回大分アジア彫刻展審査所感』『第14回大分アジア彫刻展』図録、大分アジア彫刻展実行委員会、2018年9月、8頁	【168】
797	『第14回大分アジア彫刻展・特別企画－朝倉文夫の後輩たちによる野外制作－「巨大寝ころび招き猫」』『市報ぶんどのおの』No.162、豊後大野市、2018年9月、2頁	
798	寿脚聡『おおいだ大茶会 巨大な招きネコ 豊後大野にゴロリ』『朝日新聞』2018年10月14日大分全県、27面	
799	『北海道地震 救援金』『産経新聞』2018年10月18日東京朝刊、23面	
800	深井隆、Dの3行目『東京藝術大学の彫刻と深井隆：1951（2018）』東京藝術大学出版会、2018年10月	【169】
801	『退任記念 深井隆展－7つの物語－』展覧会情報』『月刊美術』第44巻第11号通巻518号、サン・アート、2018年10月、137頁	
802	『退任記念 深井隆展－7つの物語－』『新美術新聞』2018年11月1日（No.1487）、美術年鑑社、1面	
803	『彫る「物語」希望の翼広げ 深井隆展 都内3カ所で』『朝日新聞』2018年11月6日東京夕刊、4面	【170】
804	『Interviews 深井隆 木に挑み続けた作家が語る「木彫の過去と未来」』『月刊アートコレクターズ』November2018No.116、生活の友社、2018年11月、26～27頁	【171】
805	『東京藝術大学の彫刻と深井隆1951（2018）／ART BOOKS 新刊案内』『月刊美術』第44巻第12号通巻519号、サン・アート、2018年11月、176頁	
806	『相生森林美術館だより』『広報なか』No.154、那賀町まち・ひと・しごと戦略課、2018年11月、34頁	
2019		
807	高崎市美術館『ごあいさつ』『詩をかたどる、詩をさざむ一祈りの庭へ。』図録、高崎市美術館、2019年9月、1頁	
808	住居常生『祈りと詩と庭とひとしくまだ見ぬ世を前に。』『詩をかたどる、詩をさざむ一祈りの庭へ。』図録、高崎市美術館、2019年9月、3～4頁	
809	『深井隆－永遠にあること』『詩をかたどる、詩をさざむ一祈りの庭へ。』図録、高崎市美術館、2019年9月、5頁	
810	『深井隆インタビュー』『詩をかたどる、詩をさざむ一祈りの庭へ。』図録、高崎市美術館、2019年9月、6～7頁	【172】
811	鳥彦彦『風景的留白－深井隆の彫刻』『詩と哲思の彫刻：深井隆展』図録、赤粒藝術（台湾）、2019年、8～11頁（頁表記なし）	
812	頼永興『詩與哲思の彫刻－深井隆個展 用彫刻刀揮瀟瀟詩韻的木彫家』『風景的留白－深井隆の彫刻』『詩與哲思の彫刻：深井隆個展』図録、赤粒藝術（台湾）、2019年、2～7頁（頁表記なし）	
813	『日本における彫刻・美術とは？藝大出版会の新刊』『藝える』第4号、東京藝術大学『藝える』編集部、2019年、42頁	
814	『OSTEN PHOTOGRAPHY I HERBST』Dの3行目、2019年、33頁	
815	『2019年度版 美術名典』通巻第60巻、芸術新聞社、2019年1月、244・256頁	
816	『老若男女だれもが参加し楽しんだおおいだ大茶会』『市報ぶんどのおの』No.166、豊後大野市、2019年1月、11頁	
817	『展示事業Ⅱ企画展「紙と鉛筆と、彫刻家－中原梯二郎賞受賞作家による絵画と彫刻」展』平成29（2017）年度 中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館、2019年3月、4～5頁	
818	『文化共有研究グループの事』hYoUrE』vol.14、東京藝術大学 COI 拠点、2019年3月8日、三つ折りリーフレット内側右端	
819	根木野矢『論考「アール・ボップ」から始める－80年代の美術をめぐる』『美術手帖』71巻1073号、美術出版社、2019年6月、112頁	【173】
820	『月刊美術』第45巻第8号通巻527号、サン・アート、2019年7月、53頁	
821	『前島秀章 時空を超えた木彫芸術』『月刊美術』第46巻第5号通巻536号、サン・アート、2020年4月、88～92頁	
822	『相生森林美術館だより』『広報なか』No.167、那賀町まち・ひと・しごと戦略課、2019年12月、24頁	
2020		
823	板橋区立美術館・東京新聞『ごあいさつ』『深井隆 物語の庭』図録、板橋区立美術館・東京新聞、2020年、2～3頁	

824	「心の底」深井隆 物語の底」図録、板橋区立美術館・東京新聞、2020年、6頁	[174]
825	Dの3行目「深井隆の射程」深井隆 物語の底」図録、板橋区立美術館・東京新聞、2020年、8—11頁	
826	弘中智子「深井隆の物語の底を歩く」深井隆 物語の底」図録、板橋区立美術館・東京新聞、2020年、12—15頁	
827	「インタビュー」深井隆 物語の底」図録、板橋区立美術館・東京新聞、2020年、69—74頁	[175]
828	紫野京子「紫野京子詩集 霧の馬」編集工房ノア、2020年、表紙	
829	「山に星」『と謝野品子幻想〜百選会から広がる美と造形展』図録、高島屋、2020年、46頁	
830	「金短ニ二〜2」『あなたの知らない富士がある 立体造形富士山展』図録、高島屋、2020年、11頁	
831	「2020 年度版 美術名典」通巻第61巻、芸術新聞社、2020年1月、224・236頁	
832	「今年の主な展覧会 深井隆—物語の底—」『東京新聞』2020年1月4日朝刊、15面	
833	「展覧会 深井隆—物語の底— 彫刻の神髄に迫る」『新美術新聞』2020年3月1日（No.1529）、美術年鑑社、4面	
834	「深井隆—物語の底—」『東京新聞』2020年3月3日朝刊、24面	
835	「作品展：深井隆さん彫刻作品展 板橋／東京」『毎日新聞』2020年3月18日〈地方版／東京〉、20面	[176]
836	「★大型彫刻や水彩画楽しんで」『東京新聞』2020年3月19日朝刊、30面	
837	「企画展「めくもりの彫刻—木とテラコッタと」」『平成30年度 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 年報』中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館、2020年3月、5頁	
838	「収蔵作品一覧」『平成30年度 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 年報』中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館、2020年3月、23・31頁	
839	「EXHIBITION 全国展覧会情報」『芸術新潮』第71巻第3号通巻843号、新潮社、2020年3月、149頁	
840	「展覧会記録」『東京藝術大学大学美術館「平成30年度」年報・紀要』東京藝術大学大学美術館、2020年3月、4頁	
841	「『新収蔵品』東京藝術大学大学美術館「平成30年度」年報・紀要』東京藝術大学大学美術館、2020年3月、10頁	
842	岩見亮「新収蔵品解説 深井隆「1951-」〈逃れゆく思念—森羅—〉（彫刻1345）〈時の降る夜〉（彫刻1346）」『東京藝術大学大学美術館「平成30年度」年報・紀要』東京藝術大学大学美術館、2020年3月、17-18頁	
843	「前島秀章 時空を超えた木彫芸術」『月刊美術』第46巻第5号通巻536号、サン・アート、2020年4月、88—92頁	
844	「深井隆—物語の底—」『日本経済新聞』2020年4月3日夕刊、4面	
845	「★深井隆展あすから臨時休館」『東京新聞』2020年4月3日朝刊、24面	
846	「心に広がる自由を感じて「深井隆—物語の底—」」『東京新聞』2020年4月6日朝刊、21面	[177]
847	「深井隆展 休館延長」『東京新聞』2020年4月9日朝刊、22面	
848	「アイロニーヒロユキ「深井隆—物語の底—」展 存在の奇跡をあらわす技法」『しんぶん赤旗』2020年4月10日、日本共産党中央委員会、7面	
849	松本邦知「蔵出し美術館 休館次々 公開を待つアート」『朝日新聞』2020年4月14日東京夕刊、3面	[178]
850	「彫刻家、深井隆の展覧会」『産経新聞』2020年4月19日東京朝刊、10面	
851	藤田一人「美術「深井隆—物語の底」展 戦後具象彫刻の転換と帰着」『公明新聞』2020年4月25日、5面	
852	「深井隆展の休館延長」『東京新聞』2020年4月29日朝刊、26面	
853	弘中智子「ほっとなが 情報の追しるべ 物語の底 深井隆 〈幻想の闇より〉」『東京新聞』2020年4月24日、朝刊、19面	
854	「REVIEW 編集部展覧会見歩き 深井隆 物語の青い翼」『芸術新潮』第71巻第5号通巻845号、新潮社、2020年5月、129頁	[179]
855	弘中智子「ほっとなが 情報の追しるべ 物語の底 深井隆 〈月の底—月に座する〉」『東京新聞』2020年5月1日、朝刊、17面	
856	「来月28日まで「深井隆展」延長」『東京新聞』2020年5月9日朝刊、24面	
857	「★30日まで「深井隆展」再開」『東京新聞』2020年5月27日朝刊、22面	
858	「映画、3Dなどオンラインで楽しむ美術館展／HOTLINE」『月刊美術』第46巻第6号通巻537号、サン・アート、2020年6月、76頁	
859	「EXHIBITION 全国展覧会情報」『芸術新潮』第71巻第6号通巻846号、新潮社、2020年6月、133頁	
860	泉田友紀「「美感」広がる翼 浮遊感覚 深井隆「青空—2020」」『読売新聞』2020年6月10日東京夕刊、10面	[180]
861	「おはようニュース問答 感染予防対策して美術館を楽しむたいわ」『しんぶん赤旗』2020年6月10日、6面	
862	「EXHIBITION 全国展覧会情報」『芸術新潮』第71巻第7号通巻847号、新潮社、2020年7月、133頁	
863	「相生森林美術館だより：展示作品より 深井隆「逃れゆく思念—遠い風—」」『広報なか』No.177、那賀町まち・ひと・しごと戦略課、2020年10月、22頁	
864	「相生森林美術館だより」『広報なか』No.178、那賀町まち・ひと・しごと戦略課、2020年11月、31頁	
865	「相生森林美術館だより」『広報なか』No.179、那賀町まち・ひと・しごと戦略課、2020年12月、30頁	
2021		
866	「第15回大分アジア彫刻展審査品評選」『第15回大分アジア彫刻展』図録、大分アジア彫刻展実行委員会、2021年1月、4—8頁	[181]
867	「埼玉県立美術館コレクション名品選カテゴリー2021」埼玉県立近代美術館、2021年、224・244頁	
868	「タカシマヤ文化基金30年史事務局編「タカシマヤ文化基金30年史」公益信託タカシマヤ文化基金、2021年1月、74—75頁	
869	「展示事業 3企画展「彫刻美術館のANIMALZoo〜身近な動物集合!〜」」『令和元年度 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 年報』中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館、2021年3月、5頁	
870	「展示事業 5企画展「中原悌二郎賞展—1945年以降に生まれた作家たち—」」『令和元年度 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 年報』中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館、2021年3月、6頁	
871	佐藤友哉「中原悌二郎賞受賞作家とその作品」『旭川農書第36巻 中原悌二郎賞と旭川の彫刻』旭川振興公社、2021年3月、15—23頁	
872	「長野県立美術館完成記念 未来につなぐ〜新美術館でみえる世界の至宝 東京藝術大学スーパーバークローン文化財展」『新美術新聞』2021年4月11日（No.1565）、美術年鑑社、1面	
873	「美術館：「記憶」テーマに90点7作家の美術館展 高崎で明日から／群馬」『毎日新聞』2021年6月25日地方版群馬、19頁	
874	谷津直恵（高崎市美術館）編「メモリーズ 写真、絵画、彫刻でたどる記憶の旅」図録、高崎市美術館、2021年7月、14—15頁	
875	「『まよう記憶』「メモリーズ：写真、絵画、彫刻でたどる記憶の旅」高崎市美術館、2021年7月、10頁	
876	「『悠久の記憶』「メモリーズ：写真、絵画、彫刻でたどる記憶の旅」高崎市美術館、2021年7月、15頁	
877	山口裕美「気韻生動—平畑田中と伝統を未来へ継ぐものたち」神宮の杜芸術祝祭実行委員会・アートダイバー編「神宮の杜芸術祝祭 気韻生動—平畑田中と伝統を未来へ継ぐものたち」図録、アートパワーズジャパン、2021年8月、36—39頁	
878	神宮の杜芸術祝祭実行委員会・アートダイバー編「神宮の杜芸術祝祭 気韻生動—平畑田中と伝統を未来へ継ぐものたち」図録、アートパワーズジャパン、2021年8月、62—65頁	
879	「作品解説・作家略歴 深井隆 安息（C）飛馬「コネルへの旅」神宮の杜芸術祝祭実行委員会・アートダイバー編「神宮の杜芸術祝祭 気韻生動—平畑田中と伝統を未来へ継ぐものたち」図録、アートパワーズジャパン、2021年8月、90頁	
880	「ビッグヒート2021」図録、高島屋、2021年10月、16—17頁	
881	「相生森林美術館だより」『広報なか』No.189、那賀町まち・ひと・しごと戦略課、2021年10月、28頁	
882	「相生森林美術館だより」『広報なか』No.191、那賀町まち・ひと・しごと戦略課、2021年12月、33頁	
2022		
883	高島屋美術部（無題文章）『深井隆 彫刻展 青空—BLUE BLUE BLUE—』図録、株式会社高島屋、2022年、表2	
884	「青空」深井隆 彫刻展 青空—BLUE BLUE BLUE—』図録、株式会社高島屋、2022年、表2	[182]
885	「『セウズ神像（足断片）からの創造』宮崎正明（監修）、深井隆（監修）、IKI（著、編集）『東京藝大・クローン文化財美術館のつぎ木』東京美術、2022年、74頁	[183]
886	「時代を超えた故郷英南第57窟の彫塑復元」宮崎正明（監修）、深井隆（監修）、IKI（著、編集）『東京藝大・クローン文化財美術館のつぎ木』東京美術、2022年、116頁	[184]

887	『交脚弥勒菩薩像 敦煌初期の造形を今に伝える』宮題正明（監修）、深井隆（監修）、IKI（著、編集）『東京藝大・クローン文化財美顔のつぎ木』東京美術、2022年、124頁	【185】
888	『芸術の3カ国交流、ロコ決定 開幕式典はオンライン参加検討／大分県』『朝日新聞』2022年1月29日朝刊大分全版、29頁	
889	名嘉雄樹（無題文章）『深井 隆≠陶 symposium 2022年No.20』Dの3行目、2022年3月、4頁	
890	『陶の彫刻』『深井 隆≠陶 symposium 2022年No.20』Dの3行目、2022年3月、30頁	【186】
891	『メモ』『深井 隆≠陶 symposium 2022年No.20』Dの3行目、2022年3月、33頁	【187】
892	『フィリップ・キング先生のこと』『深井 隆≠陶 symposium 2022年No.20』Dの3行目、2022年3月、35頁	【188】
893	『県政1ボックス 東アジア文化都市2022が開催します ログマークが決まりました』『新時代おおいた』No.141、2022年3-4月号、大分市、2022年3月、6頁	
894	『展示事業 5企画展「中原梯二郎賞創設50周年特別展」』『令和2年度 中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館 年報』中原梯二郎記念旭川市彫刻美術館、2022年3月、7頁	
895	成田暢「『石巻文化センターの美術作品について』『石巻市博物館活動報告第1集 開館記念企画展「文化財レスキュー 救出された美術作品の現在」』石巻市博物館、2022年3月、3－6頁	
896	佐藤麻南「II開館記念企画展「文化財レスキュー 救出された美術作品の現在」』『石巻市博物館活動報告第1集 開館記念企画展「文化財レスキュー 救出された美術作品の現在」』石巻市博物館、2022年3月、7－32頁	
897	佐藤麻南「III資料編」『石巻市博物館活動報告第1集 開館記念企画展「文化財レスキュー 救出された美術作品の現在」』石巻市博物館、2022年3月、33－47頁	
898	『大分アジア彫刻展：第16回大分アジア彫刻展 大賞に児玉さん、加藤さんユニット』『毎日新聞』地方版大分 2022年7月28日、21頁	
899	『第16回大分アジア彫刻展審査書評』『第16回大分アジア彫刻展』図録、大分アジア彫刻展実行委員会、2022年10月、4－8頁	【189】
900	功刀知子『彫刻家 舟越桂』『美術家たちの学生時代』芸術新聞社、2022年11月、7－23頁	
901	『相生森林美術館だより』『広報なか』No.203、那賀町まち・ひと・しごと戦略課、2022年12月、29頁	
2023		
902	『神の島』『未来世紀瑞象展』図録、株式会社高島屋、2023年、14頁	【190】
903	『ユニコーン翔－』『未来世紀瑞象展』図録、株式会社高島屋、2023年、15頁	【191】
904	『石巻市博物館 東日本大震災から開館2年目までの歩み』石巻市博物館、2023年、24頁	
905	『深井隆展 物語の庭』『広報いたばし』令和2年（2023年）2月22日No.2426、板橋区、4頁	
906	『東洋経済企画広告制作チーム「温故知新の体現 クローン文化財がもたらす希望の未来」』『週刊東洋経済 特大号』第7099号、東洋経済新報社、2023年2月、5－8頁	【192】
907	『事業概要 ログマーク』『東アジア文化都市2022 大分県 事業報告書 Culture City of East Asia 2022. OITA』東アジア文化都市2022 大分県実行委員会／大分県、2023年3月、13頁	
908	井原市総合政策部企画振興課編『井原市年表』井原市、2023年5月、68頁	
909	『[ART CAFE] 第18回 KAJIMA 彫刻コンクール作品募集中』『芸術新潮』第74巻第6号通巻882号、新潮社、2023年6月、129頁	
910	神宮桃子『惜別 求めた自然美 スカイツリーに』『朝日新聞』2023年9月2日夕刊、5頁	【193】
911	『自分の好きな楽しみ方で、いたばしを満喫しよう！』『芸術』に浸る』『広報いたばし』令和5年（2023年）11月11日No.2598、板橋区、4頁	
912	『相生森林美術館だより』『広報なか』No.215、那賀町みらいデジタル課、2023年12月、28頁	
2024		
913	『審査総評』『第85回河北美術展』図録、河北新報社／河北文化事業団、2024年、2頁	【194】
914	弘中智子『寺田まさ子、松岡希代子（聞き手）『楽しかったあの頃 女が語るアートエッセイ』（1999年11月21日）書き起こし』『板橋区立美術館紀要 とりどり』板橋区立美術館、2024年、12頁	
915	『追悼 澄川喜一先生を偲んで』『東京藝術大学美術学部社の会報 社』第57号、社の会事務局、2024年、19頁	【195】
916	『第17回大分アジア彫刻展審査書感』『第17回大分アジア彫刻展』図録、第17回大分アジア彫刻展実行委員会、2024年、5頁	【196】
917	『野外彫刻ながのミュージアムガイドマップ』長野市文化芸術課、2024年2月、リーフレット	
918	『特集 美術と椅子』不在の椅子』『新美術新聞』2024年2月15日（No.1649）、美術年鑑社、7面	【197】
919	『第85回河北美術展 審査員に聞く』『河北新報』2024年2月21日、河北新報社、11面	【198】
920	『高崎市美術館収蔵作品目録』高崎市美術館、2024年3月、3・30頁	
921	『審査評』『第18回 KAJIMA 彫刻コンクール作品集』鹿島建設、2024年4月、4頁	【199】
922	『「第85回 河北美術展」総評』『河北新報』2024年5月2日第2朝刊、河北新報社、4面	【200】
923	『「第85回 河北美術展」入選作品短評』『河北新報』2024年5月2日第2朝刊、河北新報社、8面	【201】
2025		
924	『彫刻ロスト・ワールド』高島屋、2025年1月、24－25頁	
発行年不詳		
925	『TAKASHI FUKAI 201－204』GLASS ART ARTISTIC AND ARCHITECTURAL CONCEPTS IN AKASAKA』興和商事株式会社、発行年不詳、10頁（頁表記なし）	
926	『すみだトリフォニーホールのアート作品：作品13 深井隆「彫刻」』『すみだトリフォニーホール アートプロジェクト』Sumida Triphony Hall、発行年不詳、15頁	【238】
927	（講演）北郷悟、深井隆、原真一『アジア彫塑の現状と未来』『アジア彫塑の現状と未来-2009.2010年中日彫塑学術研究と交流』（発行責任者）龍翔、発行年不詳、57－73頁	【202】
928	『学術研究討論会 Q & A』『アジア彫塑の現状と未来-2009.2010年中日彫塑学術研究と交流』（発行責任者）龍翔、発行年不詳、89－105頁	【203】

1. 文献一覧の改訂にあたっては、深井隆本人が自宅に所有していた資料（2025年1月時点）も参照・追加した。
2. 本改訂にあたり参照した主な文献・データベース・Web サイトは以下のとおりである。

図録・カタログ等

『昭和四十八年度 彫刻科 展示目録』東京藝術大学美術学部彫刻科、1973年9月

『第11回中原梯二郎賞』図録、旭川市教育委員会、1980年

『第3回 天展』図録、天理教道友社、1983年4月

『建築空間と彫刻』リーフレット、ギャラリー山口、1983年9月、

『第4回平行芸術展』タブロイド判、財団法人小原流、1984年、

『The Figurative Impulse—The New Trends in Japanese Contemporary Art—（日本現代美術展‘85）』図録、Walker Hill Art Center（Seoul）、1985年7月

『深井隆』図録、ギャラリー山口、1986年

『當代日本彫塑興版画 Contemporary Japanese Sculpture and Prints』図録、The Hongkong Land Property Company Ltd、1988年

『日本現代版畫展』図録、財団法人交流協会、1989年

『深井隆』図録、西村画廊、1989年6月

『オブジェ TOKYO 展・1989作品集』株式会社バルコ、1989年7月

『現代日本の屏風絵展 解説』ミナミ美術館、1990年

『Zeigenössische Wandschirmmalerei(Byobu-E)aus Japan』図録、MINAMI ART MUSEUM、1990
『Contemporary Japanese Screen Paintings(Byobu-E)』図録、Minami Art Museum、1990
『ヨーロッパ巡回展国記念展 現代の屏風絵』図録、日本経済新聞社、1991年
『名古屋コンテンポラリーアートフェア』図録、名古屋コンテンポラリーアートフェア組織委員会、1991年
『In Château Beychevelle』図録、Paris、1991
『昭和の美術 第6巻 51年〜64年』毎日新聞社、1991年3月
『深井隆展』図録、西村画廊、1991年4月
『平井芸術展の80年代』図録、峯村敏明編著・財団法人小原流・美術出版社編集部編、美術出版社、1992年9月
『相生森林美術館所蔵作品図録1993 木彫』相生森林美術館、1993年
『再制作と引用』図録、板橋美術館、1993年9月
『深井隆』図録、西村画廊、1993年10月
東京芸術大学美術学部編『“アジア競技大会広島アートフェスティバル”「北京中央美術学院・北京中央工芸美術学院・東京芸術大学」合同作品展』図録、芸術研究振興財団、1994年
『深井隆』図録、西村画廊、1995年
『美術作家による阪神大震災復興支援「100人展」チャリティーオークション 日本画／洋画／彫刻他』図録、100人展の会、1995年
『写実再見』リーフレット、国際交流基金、1996年
『現代美術の磁場-1996-』図録、茨城県つくば美術館、1996年
『創立110周年記念 東京芸術大学所蔵名品展 卒業制作年にもみる近現代の美術』図録、読売新聞社、1997年
東京オペラシティアートギャラリー編『東京オペラシティアートギャラリー収蔵品選 寺田コレクションからの100点』図録、東京オペラシティ文化財団、1999年9月
『安斉重男 FREZZE』図録、国立国際美術館、2000年11月1日
『安斉重男の眼1970-1999 写真がとらえた現代美術の30年』図録、国立国際美術館、2000年11月1日
『日本近代彫刻の流れ』図録、北見市美術展実行委員会、2002年7月27日
『2003韓国現代美術展』図録、韓日実行委員会、2003年
『2002韓国現代美術展』図録、韓国現代美術展・韓日実行委員会・在韓韓国日本国大使館公報文化院、2003年
『相生森林美術館開館10周年記念展 平柳田中と田中賞の作家たち』図録、相生森林美術館、2003年10月
高松市美術館ほか編『アンデスとチナナ人形』図録、美術館連絡協議会、2004年
『長野市 野外彫刻賞 30周年記念誌』長野市、2004年5月
『日韓友情年2005記念 もってこいの友情のかたち 日韓現代美術特別展』図録、日韓現代美術展実行委員会、2005年
『ビック・ウェーブ2』図録、高島屋美術館、2005年2月
『深井隆展 はじまりの物語』リーフレット、アートシード東京、2005年10月
『韓国現代美術展』図録、韓国美術文化協会・文化日報社、2006年
『深井隆』図録、松坂屋美術館、2006年10月
『深井隆一月と物語』図録、相生森林美術館、2006年10月
『第8回大分アジア彫刻展』図録、大分アジア彫刻展実行委員会、2006年10月
『日本美術「今」展』図録、日本橋三越、2007年
『彫刻//新時代 シリーズvol.1 森淳一展』リーフレット、高島屋、2007年
『安斉重男の“私・写・録”1970-2006』図録、国立新美術館、2007年、177頁
『深井隆』図録、高島屋美術館、2008年
『彫刻をめぐる空間』図録、高崎市美術館、2008年
『彫刻//新時代 シリーズvol.2 清水淳彦一水たまりからうまれた』図録、高島屋、2008年
『第9回大分アジア彫刻展』図録、大分アジア彫刻展実行委員会、2008年10月
『2007年日韓現代美術展』図録、日韓現代美術展実行委員会、2009年
『Drawing of the World | World of Drawing』図録、Museum of Art Seoul National University、2009年
『彫刻//新時代 シリーズvol.4 滝上優展一歩む人間』図録、高島屋、2009年
『彫刻//新時代 シリーズvol.3 土屋仁忠展』図録、高島屋、2009年
『開館35周年記念特別展 倉古トリエッナル美術賞回顧展』図録、倉古博物館、2009年
『21C//カタチの今 vol.2 思考する人体・語りかける彫刻』リーフレット、高島屋、2010年
『国際交流作品展』図録、國立臺灣藝術大學・DAEGU UNIVERSITY、2010年
『彫刻//新時代 シリーズvol.5 小俣英彦展』図録、高島屋、2010年
『彫刻の五・七・五 美術系大交流展』図録、現代彫刻研究会、2010年3月
『第10回大分アジア彫刻展』図録、大分アジア彫刻展実行委員会、2010年10月
『木のデザイン展』図録、藤田美術館、2011年
『彫刻//新時代 シリーズvol.6 原真一展一拾いもの』図録、高島屋、2011年
『中原二郎賞創設40周年記念』図録、中原二郎記念旭川市彫刻美術館、2011年3月
『2011彫刻五・七・五国際彫刻大学交流展』図録、國立臺北藝術大學美術学院、2011年6月
『たまもの 埼玉県立近代美術館のコレクションより』図録、埼玉県立近代美術館、2012年
『ゆく河の流れ一美術と旅と物語』図録、栃木県立美術館・美術館連絡協議会、2012年
『時は旅をする』図録、高島屋、2012年
『第三回国際彫形彫塑展 豊饒賽事刊』図録、國立臺灣藝術大學美術學院彫塑系、2012年
『21C//カタチの今 vol.3 熱い彫刻 1200℃の夢』リーフレット、高島屋、2012年
『第11回大分アジア彫刻展』図録、大分アジア彫刻展実行委員会、2012年10月
『21世紀の立体造形シリーズ最終章一』図録、松坂屋名古屋店、2013年
『国際美術彫術交流展』図録、苗栗縣政府国際文化観光局、2013年
岐阜県美術館 廣江泰幸編『クレバス画名作展：近代の巨匠から現代の作家まで』公益財団法人日動美術財団、2013年
『一木の造形―探究する三人展』図録、松坂屋名古屋店、2013年2月
『木の系譜―進化する奔流』図録、高島屋美術館、2014年
『深井隆展』図録、ギャラリー志門、2014年
『彫刻//新時代 シリーズII vol.1 今野健太展―あいとなるものもの』リーフレット、高島屋、2014年
『彫刻の五・七・五 HAIKU-Sculture 2013―かたちで読む奥の細道』図録、2013彫刻の五七七実行委員会、2014年
『第12回大分アジア彫刻展』図録、大分アジア彫刻展実行委員会、2014年10月
『彫刻//新時代 シリーズII vol.2 角田優展―記録と証明』リーフレット、高島屋、2015年
『CRAY-PAS ART クレバス誕生90年クレバス画名作展』図録、産経新聞大阪本社、2015年
『太線23°・北緯35°―東京藝術大学美術学部 広州美術学院 教員作品共同展』図録、東京藝術大学美術学部・広州美術学院、2015年
『方寸之間想像之外国際彫形彫塑展』図録、赤松藝術經紀策展有限公司、2015年4月
『時は旅をするII』図録、高島屋、2015年5月
『2015 HAIKU-Sculture in Chiang Mai』図録、The Contemporary Sculpture Society of Okinawa、2015年9月
『Sympathy 深井隆・土屋仁忠・今野健太展』図録、松坂屋名古屋店、2016年
『第6回国際彫形彫塑展 豊饒賽事刊』図録、國立臺灣藝術大學美術學院彫塑系、2016年
『山口桂志郎展―天秤―』リーフレット、高島屋、2016年
『彫刻//新時代 シリーズII vol.3 小畑多丘展』リーフレット、高島屋、2016年
『第13回大分アジア彫刻展』図録、大分アジア彫刻展実行委員会、2016年10月
『東京藝術大学130周年×三越美術110周年記念 美術学部教員による作品展』図録、三越伊勢丹、2017年
『東京藝術大学チャリティーオークション展』図録、東京藝術大学、2017年
『シルクロード特別企画展 泰心伝心 クロエン文化財 失われた刻の再生』図録、東京藝術大学シルクロード 特別企画展実行委員会、2017年
『彫刻//新時代 シリーズII vol.4 浅野井春奈展 unconsciousness-』リーフレット、高島屋、2017年
『microcosmic spirits』図録、高島屋、2017年3月
『彫刻//新時代 シリーズII vol.5 岡田裕美展―さきやかな森』リーフレット、高島屋、2018年
『彫刻の五・七・五 ―かたちで読む春夏秋冬― 2017 HAIKU-Sculture』図録、女子美術大学美術館、2018年
『在ることについて：東京藝術大学退任記念深井隆展 高島屋美術館開設110年記念』図録、高島屋、2018年
『7つの物語：退任記念深井隆展』図録、東京藝術大学美術学部、2018年
『深井隆―彫り出された翼―』フライヤー、FUKASAKU ART MUSEUM&GALLERY、2018年

『アトリエの未裔あるいは未来 #EXTRA』図録、東京藝術大学美術学部本彫研究室、2018年
『第14回大分アジア彫刻展』図録、大分アジア彫刻展実行委員会、2018年9月
『詩をかたどる、詩をききむー祈りの庭へ』図録、高崎市美術館、2019年
『詩與哲學の雕刻：深井隆個展』図録、赤粒藝術（台湾）、2019年
『深井隆 物語の庭』図録、板橋区立美術館・東京新聞、2020年
『与謝野島子幻想―百選会から広がる美と造形展』図録、高島屋、2020年
『あなたの知らない富士がある 立体造形富士山展』図録、高島屋、2020年
『第15回大分アジア彫刻展』図録、大分アジア彫刻展実行委員会、2021年1月
『埼玉県立美術館コレクション 年品選カテゴリー2021』埼玉県立近代美術館、2021年、224・244頁
谷津淑恵（高崎市美術館）編『メモリーズ 写真、絵画、彫刻でたどる記憶の旅』図録、高崎市美術館、2021年7月
神宮の社芸術祭実行委員会・アートダイバー編『神宮の社芸術祭祭 気韻生動―平柳田中と伝統を未来へ継ぐものたち』図録、アートパワーズジャパン、2021年8月
『ビッグヒート 2021』図録、高島屋、2021年10月
『深井隆彫刻展 青空―BLUE BLUE BLUE―』図録、株式会社高島屋、2022年
『第16回大分アジア彫刻展』図録、大分アジア彫刻展実行委員会、2022年10月
『未来世紀瑞象展』図録、株式会社高島屋、2023年
『第85回河北美術展』図録、河北新報社／河北文化事業団、2024年
『第17回大分アジア彫刻展』図録、第17回大分アジア彫刻展実行委員会、2024年
『高崎市美術館収蔵作品目録』高崎市美術館、2024年3月
『第18回 KAJIMA 彫刻コンクール作品集』鹿島建設、2024年4月
『彫刻ロスト・ワールド』図録、高島屋、2025年1月

単行本等

『東京芸術大学彫刻科』（1972年度芸術祭彫刻科小冊子）東京藝術大学美術学部彫刻科、1972年
『CHO COCKER LIVE AT THE UENO ZOO SIDE!』東京芸術大学彫刻科（ヴォイス オブ チョウコクカンパニー）、1973年
嘉門安雄他監修『高校美術1』日本文芸出版、1981年4月
『OHYAMA LIGHTING FIXTURES CATALOGUE 1984』オーヤマ照明株式会社、1984年1月
『美術手帖年鑑 89』美術出版社、1989年
『感覚地理の発想』アイアンドエス、1990年
加藤典洋『ゆるやかな速度』中央公論社、1990年11月
『Contemporary Japanese Sculpture』Abbeville Press、1991年
『TBS Media Art Studio Project』TBS、1991年
『高崎市立第二幼稚園展』高崎市立第二幼稚園園史編集委員会、1991年11月
『PRESS-ECHO 1992 BEGEGNUNG MIT DEN ANDEREN』Projektgruppe Stoffwechsel、1992年
『CONTEMPORARY ARTISTS IN JAPAN Sculptors and Installation Artists 133』株式会社日本出版、1992年7月
『喝采かつかシンフォニーヘルズ開館記念誌』葛飾区区民部文化事業課、1992年5月
『BEST CALENDERS OF THE YEAR VOL.2』メセイ出版、1992年9月
たにあらた『回転する表彰 現代美術―脱ポストモダンの視角』現代企画室、1992年10月
『企業とアート NICA F YOKOHAMA'93 PUBLIC ART PROPOSALS 2』国際コンテポラリーアートフェア実行委員会、1993年
『教育の研究活動』東京芸術大学美術学部、1993年
『木工手づくり教室 No.7』株式会社パッチワーク通信社、1994年
『SUSUMU KITAHARA K.I.D. ASSOCIATES 1987-1994』北原進・K.I.D. アンソニエツ、1994年10月
『MCA MIE CENTER FOR THE ARTS』A & T 建築研究所・三重県総合文化センター・建築工事共同企業体、1994年10月
大沢吉博 編『テキストの発見』中央公論社、1994年10月
田中俊行『e-space スペースメディアデザインがつくる、いい空間』六耀社、1997年10月
『と きわ画廊 TOKIWA GALLERY 1964-1998』三上豊、1998年12月15日
『美術学部の教育』東京芸術大学美術学部点検評価委員会、1999年
セゾン美術館編『西武美術館・セゾン美術館の活動：1975―1999』セゾン美術館、1999年
『技に夢をのせて 君の力は無限大 ものづくりエッセイ集』群馬県商工労働部職業能力開発課、2000年3月
野田弘志他監修、深井隆他著『平成14年度用 文部科学省検定済教科書 美術1』光村図書出版、2001年
野田弘志他監修、深井隆他著『平成14年度用 文部科学省検定済教科書 美術2.3上』光村図書出版、2001年
野田弘志他監修、深井隆他著『平成14年度用 文部科学省検定済教科書 美術2.3下』光村図書出版、2001年
酒井忠康『彫刻家への手紙 現代彫刻の世界』未知谷、2003年1月
『西梅田日記 1997+2004』TAKENAKA CORPORATION Hanshin Nishiumeda Design Group、2004年
『Pari New York』東京芸術大学彫刻科、2004年4月
『彫刻家 鈴木実とたち 研究会記録 2003年11月』研究会『彫刻家 鈴木実とたち』実行委員会、2005年2月
『クレバス画事典』サクラクレバス出版部、2005年5月
『MAJOR ART WORK』株式会社 TAK リアルティ、2007年
『ART BOX IN JAPAN 現代日本の彫刻 vol.2』株式会社 ARTBOX インターナショナル出版編集部、2008年5月
『西村画廊 35年+』求龍堂、2012年
『東京駅丸の内駅舎 保存・復原』東日本旅客鉄道株式会社、2012年10月
『高島屋美術館百年史』高島屋、2013年
武田厚『彫刻家の現場（アトリエ）から』生活の友社、2014年5月
『Thoughts on... TAK-PROPERTY INC. Design & Art Division』株式会社 TAK プロパティ、2015年
北川フラム『ファール立川パブリックアートプロジェクト 基地の街をアートが変えた』現代企画室、2017年
深井隆、Dの3行目『東京藝術大学の彫刻と深井隆：1951-（2018）-』東京藝術大学出版会、2018年
紫野京子『紫野京子詩集 霧の馬』編集工房ノア、2020年
タカシマヤ文化基金30年史事務局編『タカシマヤ文化基金30年史』公益信託タカシマヤ文化基金、2021年1月
『旭川叢書第36巻 中原二郎賞と旭川の彫刻』旭川振興公社、2021年3月
宮畑正明（監修）、深井隆（監修）、I K I（著、編集）『東京藝大・クローン文化財笑顔のつぎ木』東京美術、2022年
『石巻市博物館活動報告第1集 開館記念企画展「文化財レシキュー 救出された美術作品の現在」』石巻市博物館、2022年3月
『深井隆 symposium 2022年 No.20』Dの3行目、2022年3月2日
功刀知子『美術家たちの学生時代』芸術新聞社、2022年11月
『石巻市博物館 東日本大震災から開館2年目までの歩み』石巻市博物館、2023年
『東アジア文化都市2022 大分県 事業報告書 Culture City of East Asia 2022. OITA』東アジア文化都市2022 大分県実行委員会／大分県、2023年3月
井原市総合政策部企画振興課編『井原市年表』井原市、2023年5月
『GLASS ART ARTISTIC AND ARCHITECTURAL CONCEPTS IN AKASAKA』興和商事株式会社、発行年不詳
『TOKYO STATION MARUNOUCHI BUILDING JRED 通信+特別号』株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所、発行年不詳
『すみだリフォニホール アートプロジェクト』Sumida Triphony Hall、発行年不詳
『アジア彫塑の現状と未来-2009,2010年中日彫塑学術研究と交流』（発行責任者）龍翔、発行年不詳

雑誌・機関誌等

『Art in America』Sandra J Brant
『CRAFT VIEW』ビジョシシステムプランニング
『craft arts INTERNATIONAL』Craft Arts International
『GORO』小学館
『GQ Japan』朝中書店
『hYoUrE』東京藝術大学 COI 拠点
『JAPAN AVENUE』ジャパン・アベニュー株式会社

『KANDA ルネッサンス 77』NPO 法人神田学会
 『marie claire Japan』中央公論社
 『New Art Examiner』New Art Associations
 『OSTEN PHOTOGRAPHY』D の 3 行目
 『PARFUM』パルファム
 『PHP INTERSECT』PHP Institute
 『TAKASHIMAYA art information 日本橋高島屋美術館のご案内』日本橋高島屋
 『URABANDAI KOGEN HOTEL ART BOOK』株式会社アサヒプロパティズ
 『WEEKLY ぴあ』ぴあ株式会社
 『WWWD FOR JAPAN』ウーマンズ・ウェア・デイリー・ジャパン
 『アートコレクター』生活の友社
 『エキイオンオフィス』株式会社エキイオン・CI 事務局
 『エキイオンコーポラーツ』株式会社エキイオン・CI 事務局
 『ギャラリー』ギャラリーステーション
 『ぴあ』ぴあ
 『美術名典』芸術新聞社
 『板橋区立美術館概要』板橋区立美術館
 『板橋区立美術館紀要』とりどり 板橋区立美術館
 『板橋文化情報誌 FUREAi』財団法人板橋区文化振興財団
 『藝える』東京藝術大学『藝える』編集部
 『鹿島建設月報』鹿島建設株式会社
 『華報』高島屋クレジット株式会社
 『群馬県立近代美術館年報』群馬県立近代美術館
 『芸大生協 新入生のしおり '86』芸大生協学生委員編
 『月刊くるまる』ニュース・ライシ
 『月刊ジャストヘルス』社会保険法規研究会
 『建築文化』彰国社
 『広報いたばし』東京都板橋区
 『広報なか』徳島県那賀郡 那賀町みらいデジタル課
 『広報ながの』長野県長野市
 『広報高崎』群馬県高崎市
 『札幌芸術の森情報誌ルパ』札幌芸術の森 財団法人札幌市芸術文化財団
 『市報ふんごおの』大分県豊後大野市
 『週刊東洋経済』東洋経済新報社
 『新建築』新建築社
 『新時代おおい』大分県大分市
 『福状舞台』財団法人富山市民文化事業団
 『ソトコト』木楽舎
 『旅鶴』株式会社ミュージアムスタイルカフェ
 『東京藝術大学芸術資料館年報』東京藝術大学芸術資料館
 『東京藝術大学コンサートスケジュール』東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏芸術センター
 『東京藝術大学大学美術館年報・紀要』東京藝術大学大学美術館
 『東京藝術大学美術学部杜の会報 杜』杜の会事務局
 『中原二郎記念旭川市彫刻美術館年報』中原二郎記念旭川市彫刻美術館
 『新潟市美術館年報』新潟市美術館
 『日経おとなの OFF』日経 BP 社
 『美術評論』第 12 号、中興企画
 『野外彫刻ながのミュージアムガイドマップ』長野市文化芸術課
 『山口県立美術館年報』山口県立美術館

新聞

『Mainichi Daily News』毎日新聞社
 『河北新報』河北新報社

データベース・Web サイト

『朝日新聞クロスサーチ』朝日新聞社
 『カーリル』株式会社カーリル
 『国立国会図書館サーチ』国立国会図書館
 『国立国会図書館デジタルコレクション』国立国会図書館
 『聞蔵Ⅱ ビジュアル』朝日新聞社
 『CINii』国立情報学研究所
 『産経新聞データベース』産経新聞社
 『G-Search』株式会社ジー・サーチ
 『全国美術館収蔵品サーチ「SHŪZŌ」』独立行政法人国立美術館国立アートリサーチセンター（NCAR）
 『中日新聞・東京新聞記事データベース』中日新聞社
 『日経テレコン 21』日本経済新聞社
 『日本の美術展覧会記録 1945-2005』国立新美術館
 『美術展覧会開催情報』東京文化財研究所
 『美術館図書館横断検索』美術館図書館連絡会
 『毎索』毎日新聞社
 『ヨミダス』読売新聞社